

第八十四回帝國議會
衆議院
昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等
ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件

委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第二號)
學校特別會計法案(政府提出)(第三號)
厚生保險特別會計法案(政府提出)(第四號)
農業家畜再保險特別會計法案(政府提出)(第五號)
簡易生命保險及郵便年金特別會計法案(政府提出)(第六號)
臺灣事業用品資金特別會計法案(政府提出)(第七號)
作業會計法外十法律中改正法律案(政府提出)(第八號)
國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案(政府提出)(第九號)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)(第一〇號)
戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案(政府提出)(第一一號)
煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案(政府提出)(第一二號)

昭和十九年一月二十六日(水曜日)午後一時
二十一分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中村 梅吉君

理事泉 國三郎君 理事田中伊三次君

理事古田喜三太君

安藤 覺君

神尾 茂君

白川 久雄君

田中 藤作君

田下 政治君

南郷 武夫君

藤井伊右衛門君

松延彌三郎君

村澤義二郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省管理局長

朝鮮總督府財務局長

臺灣總督府財務局長

高橋 衛君

大藏省理財局長 田中 豐君
大藏省銀行保險局長 山際 正道君
大藏書記官 窪谷 直光君
大藏書記官 林 修三君
大藏書記官 渡邊喜久造君
大藏書記官 村岡 信勝君
大藏書記官 濱田 幸雄君
專賣局長官 濱田 實君
專賣局理事 稻森 實君
專賣局理事 濱田 德海君
專賣局理事 濱田 家治君
專賣局理事 深澤 菊池豐三郎君
文部次官 菊池豐三郎君
文部書記官 柴沼 直君
厚生省保險局長 平井 章君
農商省總務局長 重政 誠之君
農商省農政局長 石井英之助君
農商省山林局長 西村 彰一君
農商省燃料局長 菱沼 勇君
軍需省燃料局長 堀木 鎌三君
鐵道監 堀木 鎌三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

學校特別會計法案(政府提出)
厚生保險特別會計法案(政府提出)
農業家畜再保險特別會計法案(政府提出)
簡易生命保險及郵便年金特別會計法案(政府提出)
臺灣事業用品資金特別會計法案(政府提出)
作業會計法外十法律中改正法律案(政府提出)
國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案(政府提出)
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案(政府提出)
煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案(政府提出)

○中村委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

田中勝之助君

○田中(勝)委員 私ハ燃料問題ニ付テ御尋

ネ致シマス、我ガ國ノ石炭ハ大體甲乙丙ニ

オ分ケニナツテ居リマス、常磐炭及ビ宇部

炭ノ外ノ石炭ハ、四千五百「カロリー」以上ノ

モノヲ規格トシテ販賣スルコトガ許サレテ

居ルノデアリマスガ、常磐炭ハ三千五百「カ

ロリー」、宇部炭ハ三千四百五十「カロリー」

ソレカラ其ノ他泥炭ノ如キモノ「デモ二千「カ

ロリー」位アレバソレ等ハ販賣ヲ許サレテ

居ルノデアリマス、是ハ何カ鐵道輸送ト云

ツタヤウナ關係ノミデ左様ナ區別ガ付ケテ

アルノデアリマス、或ハ又他ニ何カ大キ

イ理由ガアツテ、サウ云フ風ニ區別ガ付イ

テ居ルノカ、御伺ヒシテ見タイト思フノデ

アリマス

○菱沼政府委員 御答ヘ致シマス、石炭ニ

付キマシテ御話ニアリマシタ常磐炭ニ付キ

マシテハ、三千五百「カロリー」以下ノモノヲ規格外ト致シテ居リマス、又九州、北海道ノ石炭ハ四千五百「カロリー」以下ヲ規格外ト致シテ居リマス、規格外ノ取扱方ニ付キマシテハ、是ハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタ場合ニ販賣ガ出來ルコトニ致シテ居リマス、是ハ石炭ハ優良ナ「カロリー」ノ多イモノヲ出來ルダケ掘ラシテ、之ヲ消費セシメタイト云フ考ヘ方ト、御話ノ如ク特ニ輸送ノ關係ヨリ斯様ナ扱ヒヲ致シテ居ルノデアリマス、申上ゲルマデモナク、今日國內ノ輸送力ヲ、海上、陸上共ニ最モ使ツテ居ルモノハ石炭デゴザイマスノデ、一定ノ規格外ノモノハ遠方ヘ持チ運ブコトハ遠慮シテ貰フ、サウ云フ趣旨デヤツテ居リマス、併シナガラ、是等ノ規格外ノモノト雖モ、當該地方ニ於テ消費セラレルコトガ明カデアリマスル以上ハ之ヲ許可致シテ居リマス、尙亞炭ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、亞炭ニ付キマシテハ、今日我々ノ方針ト致シマシテハ、出來ルダケ亞炭ノ產地ノ附近ニ於テ之ヲ消費スルコトヲ建前デ致シテ居リマス、隨ヒマシテ亞炭ニ付キマシテハ石炭ノ如ク計畫的ノ輸送ヲ致シテ居リマセス、貨車等ニ於キマシテモ、餘裕ガ出來タ範圍内ニ於テ隨時之ヲ輸送スルコト云フ程度デアリマシテ、積極的ニ是ガ爲ニ計畫輸送ヲスルト云フヤウナコトハ全然致シテ居ラナイノデアリマス、亞炭ハ出來ルダケ貴重ナ輸送力ヲ餘リ使ハナイデ、ソレデ而モ當該地方ノ石炭ノ不足ヲ之ニ依ツテ補ツテ行クト云フ考ヘ方デヤツテ居ルノデアリマス、大體ノ所御諒承ヲ願ヒマス

○田中勝委員 ソコデ北九州地方ニ於キマシテハ、可ナリノ熱量ヲ發シ得ル石炭モ

相當ニアルシ、尙選炭ノ場合相當ニ粉炭アタリノ立派ナ「カロリー」ヲ持ツテ居ルモノガ、利用サレズニ放ツデアルト云フ實情ヲ聽カサレノデアリマスガ、殊ニ北九州ノ河ノ底アタリニハ、マダ相當ノ石炭ノ良イモノガアルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、之ヲサウ云フ風ニシテアルト云フハ、只今御話ノヤウニ輸送ノ逼迫シテ居ル今日、熱「カロリー」ノ少イ石炭ヲ遠方ニ運ブト云フコトハ忍ビナイカラ、御話ノ通り「カロリー」ノ多イモノ、詰リ雜物ヲ除ケタ純物ノ石炭ヲ運ブト云フコトハ御尤モダト思ヒマス、併シ若シ是ガサウ云フ風ニ河ノ底ニデモアル、ソレヲ其ノ邊ノ土着ノ人々ガ、手デ團子ニシテ燃料ニ實際使ツテ居ルト云フノガ實情デアリヤウニ聞イタノデアリマスガ、若シ非常ニ優レタ所ノ粘着劑ガアルナラバ、之ヲ粘着サセテ所謂煉炭式ニ使フト云フコトニナレバ、此ノ廢ツテ居ル國家ノ資源ヲ非常ニ有效ニ利用スルコトガ出來ルノデハナイカト思フ、從來ハ「ピッチ」トカ、糖密トカ云フヤウナモノヲ使ツテ粘着劑ニシテ居ツタヤウデアリマスガ、其ノ粘着劑モ資材ヲ得ルノニ非常ニ困難ニナツタト云フ狀況カラ、結局サウ云フ風ニ貴重ナル資源ガ河ノ底ニアルト云フヤウナ實情デアラウト私ハ思フノデアリマス、ソコデ其ノ粘着劑ニ代ルベキ立派ナモノガ現在ドウ云フ風ニ出來ツ、アルカ何カ特別ナ立派ナ粘着劑ヲ現在御研究ニナツテ居ルカドウカ、其ノ邊ヲ一ツ伺ヒタイ

○菱沼政府委員 只今ノ御尋ネハ棒炭、豆炭等ノ製造用ノ粘結材料ニ付テノコトト拜承致シマシタガ、實ハ棒炭、豆炭ノ所管ハ最近農商省ニ移ツテ居リマスノデ、私カラ

責任アルコトヲ申上ゲ兼ネルノデアリマシタガ、私ノ承知シテ居ルコトヲ申上ゲマスレバ、御話ノ如ク從來粘結劑トシマシテハ糖蜜ヲ主トシテ使用致シテ居ツタノデアリマス、其ノ糖蜜ガ近時不足ヲ致シテ居リマスコトハ事實デアリマス、而シテ是ガ不足ヲ補フベキ代用ナルモノガアルカト云フ點デゴザイマスルガ、現在代用品ノ研究ヲ各方面デヤツテ居リマス、例ヘテ申シマスルト「バルプ」ノ廢液ヲ利用致ストカ、或ハ泥炭ヲ溶カシタモノヲ使フトカ、サウ云フ方法デ今研究ヲ致シテ居ルヤウデアリマシテ、漸次是等ノ代用品ガ現ハレテ參ルコトト期待ヲ致シテ居リマス

○田中勝委員 今相當ニ熱心ニ御研究ニナツテ居ルト云フコトヲ聽キマシテ非常ニ私モ満足ニ思ヒマス、何レハ燃料研究所邊リデ御研究ニナツテ居ルコトデアラウト思フノデアリマスガ、私ノ知人ノ一人ガ此ノ粘着劑ニ付テハ非常ニ熱心ニ研究シテ居リマシテ、石炭「コロイド」ト云フモノヲ造ルコトニ成功シタラシキアリマス、若シサウ云フヤウナ粘着劑ガアルナラバ、大イニ之ヲ一ツ代用品トシテ使フベク、若シ是ガ試驗ノ結果立派ダト云フコトニナレバ、御使用ヲ願ヘル見込ガアルモノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○菱沼政府委員 十分ニ研究ヲ致シマシテ、ソレガ適當ナモノデアリマスレバ、使用獎勵ノ途ヲ講ズルヤウニ致シタイト思ヒマス

○田中勝委員 是デ私ノ燃料ニ關スル質問ヲ終リマス

○中村委員長 政府委員ノ來ルマデ一寸御待チヲ願ヒマス——農政局長ガ御見エニナリマシタカラ、田中君

○田中勝委員 私ハ近頃非常ニ澤山出來テ居リマス統制會社ノ運營ニ付キマシテ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、是ガ具體的ナ實例ヲ私ハ農藥統制會社ニ採ツテ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、農藥ノ統制並ニ其ノ運用機關アル農藥統制會社ノ設置ノ趣旨ハ、申スマデモナク第一ニハ不良品ノ濫立、濫賣ヲ防グコト、第二ニハ國家ノ要請スル優良農藥ヲ確保スルコトニアルノデアリマスガ、併シ其ノ運營ヲ誤ルト、徒ニ生産萎縮ノ機關トナリ、或ハ既存農藥製造業者ノ利潤保證トナリ、新優良品ノ進出ヲ阻害スルコトニナリ、延イテハ農藥ノ進歩發展ヲ停止セシメルノミナラズ、優良農藥ガ出來ナイ爲ニ目下國家トシテ最モ大切デアアル、又食糧問題ヲ解決スル上ニ於テ非常ナ不利ヲ來スコトガアルノデアリマス、今日資材ノ少イ狀態ニ於キマシテ、所謂「ボルドー」劑ノヤウナモノハ中々手ニ入ラスノデアリマス、隨ヒマシテ麥ノ菌核病、或ハ俗ニ言フ赤黴病ノヤウナモノガ、ドレ位麥ノ増産ニ禍ヒラシテ居ルカト云フコトハ、私ガ此處デ申上ゲルマデモナイノデアリマス、ソコデ赤腐病ニ對スル「ボルドー」劑ニ代ルベキ立派ナ農藥ガ、熱心ナ人ニ依ツテ出來テ居ルニモ拘ラズ、是ガマダ公認ノ農藥トシテ取扱ハレテナイ事實ガアリマス、其ノ理由トスル所ハ農事試驗場ニ於キマシテマダ生物的ノ試驗ガ濟ンデ居ラナイト云フノダサウデアリマスガ、生物的試驗ハ行ハレナクテモ、ソレハ「コロイド」硫黃ト云フモノダサウデアリマスガ、斯様ナモノハモウ既ニ不完全ナガラ公認サレテ居ルモノデアリマシテ、化學的成分ヤ「コロイド」狀態等ノ物理學的試驗濟ノモノ

ノミデ十分ニ判斷ガ著ケラレルト考ヘラレマス、サウシテ此ノ程度ノ試験ハ、私共ガ考ヘマストサウ何日モ掛ル答ハナイト思ヒマス、少クトモ試験ヲ依頼シタ後一年モ経過シテ居ル今日、尙其ノ結果ガ明カデナイト云フコトハドウモ考ヘラレスコトデアリマス、斯ウ云フコトガアリマスカラ既存會社ノ製品ノ利潤保證ノ爲ニ統制會社ガアルノダト云フヤウナ惡口ヲ言フ者ガ出來テ來ルノデハナカラウカト憂フルノデアリマス、此ノ新シク出來タ優秀品ノ進出ガ阻害サレテ居ルノダト考ヘラレルノモ、斯ウ云フコトガアルナラバ、已ムヲ得ナカツタノデハナカラウカト思ヒマス、食糧品ノ中デモ麥ハ米ニ次ガ重要主食品デアリマスノデ、重要主食品ノ農藥トシテ硫黃劑ニ付テ、而カモ新シイ「コロイド」硫黃劑ガ出來タ場合ニハ、少クモ其ノ試験ニ一年モ掛カルト云フ統制會社ノ運籌デハ、國家ノ要請スル食糧増産ハ困難デハナカラウカト考ヘマス、ソコデ斯様ナ立派ナモノガアルナラバ速カニ試験ヲシテ、不足セル農藥ヲ速カニ供給スル措置ヲ講ゼラレルノガ當然ト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ如何御考ヘニナツテ居リマス

○石井(英)政府委員 農藥ノ問題ニ付テ、只今御承知ノヤウニ資材關係ノ爲ニ、其ノ供給ヲ確保スルコトハ相當ノ困難ガアリマス、サウ云フ事情ノ爲ニ各種ノ代用品ヲ使ツテ當面ノ急ニ應ズルコトノ研究ヲ進メ、又其ノ方面ニ非常ニ努力シテ居リマス、斯様ノ關係デアリマスカラ、代用品トシテ十分ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノニ付テハ、出來得ル限リ之ヲ利用ルサウニ進シテ參リタイト考ヘテ居リマス、只今御話ノ具體的ノ案件ニ付

テハ、ドウ云フ内容ノモノデアリマスガ、更ニ調査致シテ見タイト思ツテ居リマスガ、農商省トシテハ斯様ナ考ヘラ以テ折角努力致シテ居リマス、十分ニ調査致シテ見タイト思ツテ居リマス

○田中(勝)委員 私ノ申上ゲタ農藥ニ付テハ、今調査シテ居ナイカラ、能ク調査シテ見ルト云フコトデ、満足致シマスガ、私ノ申上ゲタ藥ヲ別ニシテモ、兎ニ角試験ヲ依頼シテ一年モ經ツノニ、其ノ結果ガ分ラヌト云フノハ一體ドウ云フ譯デアリマスガ

○石井(英)政府委員 農藥ノ關係、肥料ノ關係ノ效果ノ試験ニ付テハ、現實ニ農家ガ之ヲ使用シテドレ位ノ效果ガアルカ、ドレ位ヤルノガ適當デアアルカト云フコトマデ、十分ニ調査シタ上デアリマセスト、實行上農家ニ迷惑ヲ掛ケル虞ガ多分ニアリマスカラ、農事試験場トシテハ其ノ邊ノ調査研究ニハ今申上ゲタヤウナ趣旨デ非常ニ慎重ヲ期シテ居リマシテ、我々常識的ニ考ヘマシテ其ノ程度ノ效果ノ試験ハ、サウヤカマシイコトヲ言ハヌデモ分ルノデハナカラウカト云フコトデモ、技術的ニハ複雑ナ、面倒ナ問題ガ中ニハ包藏サレテ居リマス、場合ニ依ツテハ、試験ノ對象ニ依ツテハ、案外時間ガ掛カルコトモアリマス、今御話ノ案件ガドウ云フコトニナツテ居リマスガ、先程申上ゲタヤウニ十分調査ヲ致シテ見タイト思ツテ居リマス

○田中(勝)委員 大體常識的ニ考ヘテモ一年モ掛カルコトハナイヤウニ考ヘマスガ、今御述ベノヤウニ、試験場トシテハ大事ヲ取ルト云フ御話デアリマス、是モ洵ニ御尤モト思ヒマスガ、ソレガ爲ニ輕々ニ新シイ藥品ヲ購入サセテ、純真ナル農家ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトガアツテハナラヌト云フ今御注意ノヤウデアリマス、洵ニ私モ同感デアリマシテ、如何ハシイ藥ニ農民ガ迷ハサレテ迷惑スルト云フコトハ、國家ノ爲ニ斷ジテ許サレナイト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、併シナガラ今私が申上ゲマシタ農藥ハ、農家ガ既ニ注文ヲシテ居ツテ、其ノ效果ハ農民自身ガ認メテ公認ノ藥デハナイケレドモ、而モ送ツテ欲シイト云ツテ居ル事實ガアルノデアリマスガ、之ヲ公認シテ統制會社ノ手ヲ經テ賣ルト云フコトガ許サレマセヌノデ、農藥ノ原料トシテ之ヲ販賣シテ居ルトカ云フコトモ私耳ニシタノデアリマス、所謂何ト申シマスガ、惡ク言ヘバ合法的脫法行爲ト云フヤウナコトヲシテマデ、其ノ農藥ヲ手ニ入レテ居ルト云フヤウナ事實ヲ見マスル時、サウ云ツタヤウナコトガ私ハ違法ノ精神ニモ悖ルシ、純真ナル農民ガ違法ノ精神ヲ案シテ行クト云フヤウナコトハ、私ハ由々シキ問題ダト思フノデアリマス、實際ニ農民ガ使ツテ見テ效果ガナケレバ、其ノ農藥ノ注文ハ斷ジテナイト思ヒマス、ソレヲ統制會社ノ公認農藥トシテ認メラレナイト云フ理由ハ、所謂從來ノ因縁情實カ、然ラザレバ從來アル所ノ所謂「コロイド」硫黃劑ト云ツテ賣ツテ居リマス所ノ市販品ニ對スル所ノ、所謂試驗場ノ體面保持論トデモ申シマセウカ、サウ云ツタヤウナ經緯カラ是ガ抑ヘラレテ居ルノデハナカラウカト云フヤウナ僻ミヲ持ツヤウナ感ジガ致スノデアリマス、又事實「コロイド」硫黃劑ト云ツテ日本農藥會社等カラ販賣シテ居ルモノデアリマシテモ、是ハ勿論公認ノモノデアリマスケレドモ、ソレヲ簡單ナ試験ヲシテ見ルト、實ニ貴重

ナ精鍊サレタ所ノ硫黃ヲ原料トシテ、之ニ「ベントナイト」ト云ツテ、泥見タヤウナモノヲ混ぜ合ハシテ、ソレヲ造ツテ居ルノダサウデアリマスガ、此ノ製品ヲ試驗管ニ入レテ水ニ溶カシテ見マス、チヨット見ルト「コロイド」硫黃デアリマスガ、ソレヲ水ニ溶カシテ振ツテ見ルト、硫黃分ガ試験管ノ中ニ沈澱シテ、「ベントナイト」ダケガ浮イテ居ルト云フヤウナ農藥スラ公認ヲシテ販賣ヲ許シテ居ル、然ルニ此ノ立派ナ新ラナイ農藥ガ、所謂試験ヲ慎重ニスルト云フコトニカコツケテサウ云フ抑ヘラレルト云フコトハ、所謂世上ニ言フ試験場ノ體面保持論カラ、サウ云フコトニ陥ルノデハナカラウト云フヤウナ僻ミ根性スラ起サセルヤウナ點ガアルノデアリマス、其ノ事實ニ付テハ後程デモ宜シイト思ヒマスガ、能ク御研究御調査ノ上然ルベク善處シテ、左様ナコトガナイヤウニ一ツ、此ノ所謂統制會社ノ運用ニ付テハ、今後特ニ一般ノ御注意ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス、此ノ邊ニ付テ御意見ガアレバ承リタイト思ヒマス

○石井(英)政府委員 農藥ノ試驗研究ノ關係ニ付キマシテハ、先程申上ゲタヤウナ趣旨デ實行致シテ居ルノデアリマスガ、配給ノ統制會社ノ便宜トカ、不便宜トカ云フヤウナコトハ、固ヨリ全然考慮ニ入レズシテ實行シテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、尙統制會社ノ運用ニ付キマシテハ、全般的ニ實情ニ即シマシテ改善ヲ要スル點ハドシ、改善トシテ、參ラナケレバナラヌト考ヘテ居リマスノデ、農藥ノ關係ニ付キマシテモ十分注意ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○田中(勝)委員 是デ私ノ質問ヲ終リマス

○中村委員長 安藤覺君

○安藤(覺)委員 私ハ木炭ノ問題ニ付テ少シク當局ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、木炭ノ問題ニ付テハ或ハ山林局長ニ御尋ネスルノガ最モ適切且ツ直接ニナルカト存ズルノデアリマスガ、併シ戰時議會ノ本質ニモ鑑ミマシテ、多少横ニ外レルカモ知レマセスガ、之ヲ農政局ノ立場カラモ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ既ニ當局ニ於カレマシテハ十二分ニ御承知デアリ、且ツ御自身非常ニ御苦心ナサツタ所ノモノデアリマスガ、昨年末以來非常ニ木炭不足、燃料不足ノ聲ガ高マツテ参リマシテ、例ヘバ京阪神地方ニ於キマシテハ、事實私翼政會カラ調査ヲ命ゼラレマシテ、出張シテ調べテ参ツタノデアリマスガ、床板ヲ一枚置キニ剥イデ燃シテ行クト云フ姿ガアル、堀ト云フ堀ハ悉ク剥ガシテシマツテ、薪ノ代リニ焚クト云フヤウナ姿サハ現ハレテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ結果トシテ各地方ノ木炭製造業者ニ對シマシテハ、炭ヲ燒ケ、炭ヲ燒クト云フ所ノ強イ推進激勵ガ、ソレト縣當局其ノ他カラ参ツタノデアリマス、斯ク申上ゲル私モ其ノ激勵員ノ一員トシテ動員サレテ山奥ノ炭小屋ヲ駈ケ巡ツタノデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ私達ガ常ニ是等ノ木炭製造業者カラ聞カサレタノニハ、次ノヤウナモノガアルノデアリマス

○中村委員長 一寸途中デ失禮デスガ、農政局長ハ他ノ委員會カラ呼ビニ來テ居ルノデスガ、如何デセウカ

○安藤(覺)委員 極ク簡單デスカラ、モウ一寸待ツテ下サイ——モウ十分ニ製炭業者ノ聲ト云フモノハ當局ノオ耳ニ達シテ居ル

ノデアリマスシ、今委員長ノ御注意モアリマスカラ、極メテ簡單ニ申述ベマスガ、要スルニ今業者ノ聲ト云フモノハ斯ウ云フ二ツノモノニ要約スルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレハ一ツハ炭ヲ燒ケ、炭ヲ燒クト云フテ激勵サレ、尻ヲ叩カレルケレドモ、我々ノ其ノ炭ヲ燒クベキ原木ヲ手ニスルコトガ出來ナイ、即チ炭ノ値段ガ餘リニ安イガ故ニ、此ノ炭ノ値段カラ割出シタ所ノ原木代ヲ立テ、山持チニ交渉スル時ニ於テハ、山持ハ決シテ首ヲ縦ニハ振ツテ呉レナイ、結局我ノ命令ヲ受ケル所ノ炭ニハ公定相場ガアルガ、山ニハ公定相場ガナイ、即チ我々ハハツキリシタ統制經濟ノ線ノ上ニ立タサレナガラ、我々ノ燒ク所ノ材料其ノモノヲ賣ル山持チノ所デハ、依然トシテ自由主義經濟ノ原則ニ立ツテ居ル、此ノ二ツノ打突カリニ於テ、而モ勢力的ニ言ヘバ、我々ハ其ノ日々暮スシガナイ炭燒、山ヲ持ツテ居ル人ハ村デ言ヘバ地主デアリ、且那衆デアアル、斯ウ云フ譯デ政治勢力ニ於テモ我々ハ及バナイ、其ノ爲ニ甚ダシキニ至ツテハ、一黨ノ山ヲ得ル爲ニ、十日乃至十五日位ヅ、山ヲ駈廻リ、交渉ニ日時ヲ費サナケレバナラス、是ハ單ナル言葉ノ經緯カラ來タ其ノ時ノ陳情事デハナクシテ、現實ニ私自身ガ推進隊員ノ一人トシテ山奥ニ参リマシタ時ニ、偶、私ト同行致シテ居リマシタ縣ノ林務課ノ役人ガ、腕ニ林務課ト云フ腕章ヲ付ケテ居リマシタ所、乗合セマシタ「バス」ノ中デ、洵ニオドシタ態度ヲ執ツテ居ル男ガ二人居リマシタガ、驢ニ思切ツタラシク起チ上ツテ此ノ林務課ノ役人ニ向ツテ、アナタハ林務課ノ方デスカ、斯ウ云フコトガアリマシタ、ソコデサウデスト答

ヘマス、之ニ對シテ實ハ私達縣カラ炭ヲ燒ケヤケト云フコトノ強イ要求ヲ受ケテ山ヲ探シ廻シテ居ルノデスガ、今尙手ニ入ラス、今日デ十三日目デアアル、偶、山ヲ探シ當テマシタノデ、今交渉ニ行ツテ歸ル途中デスガ、値段ガ月ト籠ノ開キデ、モウオ話ニナラスノデスト云フ惣ヘデアツタノデアリマス、事實サウ云フコトガ到ル處ニ頻々ト行ハレテ居ル、偶、林務課ノ出張所或ハ地方事務所等ガ中ニ入ツテ、斡旋ノ勞ヲ執ルコトニ努力シテ居ラレマス、ソレニ依ツテ纏マルコトモ多イノデアリマスガ、段々炭ガナイ薪ガナイト云フ聲ガ強クナレバ強クナル程、一方山持ノ方ハ山ヲ賣ルコトヲ手控ヘテ、高イ値段ニ吊上ツテ來ルコトヲ待ツト云フヤウナ狀況デアリマス、斯様ナコトデアリマスカラ、何等カ茲ニ山ニ付テ一ツノ統制經濟ニ則ツタ所ノ拘束ノ方法ガ講ゼラレルカ、或ハ其ノ他政治力ヲ以テ何等カ山持ニ對シテ斯様ナル場合ニ於テ、山ヲ賣ルベシトスル所ノ方法ガ講ゼラレルカ、何等カセラレナケレバ、到底此ノ炭ト云フモノガ、當局ガ御要求、御熱望ニナルヤウナモノガ出テ來ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘノデアリマス、是ガ一ツ、モウ一ツハ木炭ノ値段ト同時ニ、産業組合、或ハ卸商組合、小賣商組合等ノ各「トンネル」ヲ潜リマス、其ノ「トンネル」ノルートノ問題デアリマスガ、大體色々値段ハゴザイマスルガ、標準値段ヲ榎ナラ榎ニ取リマシテ、一俵一圓七十錢ト見マス、神奈川縣アタリノ山ニ於テ見マスル時ニ、製炭者賣渡値段ハ一圓七十錢デアリマスルガ、ソレガ消費者ニ渡リマスル時ニハ、大體八十錢カラ八十五錢値ガ上リマ

シテ、二圓五十錢乃至二圓五十五錢ト云フヤウナ値ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニハ無論産業組合ヘノ手數料、卸商組合ヘノ手數料、小賣商組合ヘノ手數料、或ハ停車場マデノ搬出ノ運賃五錢乃至十錢、十五錢ト云フヤウナモノガ加ヘラレ加ヘラレシテ、斯ウ云フ姿ニナツテ居ルノデアリマス、併シ是ガ停車場マデ行ツテ東京ニ搬出サレ、或ハ横濱ニ搬出サレ、大阪ニ搬出サレ、八十錢ノ負擔ガ高マツテ出テ居ルノデスト、製炭業者ハソレデ一應満足スルノデスガ、例ヘバ神奈川縣津久井郡串川村ナラ串川村ノ何ノ某ガ燒キマシテ出炭致シマシタ炭ガ、別ニ何處ヘモ動カズニ其ノ何ノ某ノ庭ニアリマシタ儘、隣ノ家ニ賣渡サレル時ニ、一ツモ炭ハ動イテ居ラナイノデスガ、ヤハリ八十錢、ハツキリト自分ノ賣渡シタ値段ヨリモ高ク取引サレテ行クノデアリマス、サウ致シマスト、何ダカ炭ガ一ツモ動イテ居ナイノニ八十錢モ高イ値段ニ取引サレテ居ルノカ、俺達ガ一番馬鹿ニサレテ居ルデヤナイカ、曾テ自由經濟ノ時代ニ於テ商人ガドンナニ我ヲ馬鹿ニシタ所デ、一圓七、八十錢位ノ品物デアツタナラバ、僅カ十錢カ十五錢シカ頭ヲ剔ネナカツタノニ、オ上ガ總テオヤリニナルヤウニナツテカラ、オ上ハ我々ニ八十錢モノ頭ヲ剔ネラレル、ト云フヤウナ結果ニナツテ來テ居ル、斯ウ云フコトヲ惣ヘラレルノデアリマス、是ハ産業組合ニシマシテモ、卸商組合ニシマシテモ、小賣商組合ニシマシテモ、此ノ製炭者達ノ頭ニハ、總テ統制會或ハ統制經濟ト云フ概念ノ下ニ於テ、オ上ノ仕事トシテ頭ニ入ツテシマツテ居ルノデス、決シテソレガ民間ナルモノダト云フ感ジハナイ、完全ニオ上ノモノ

ダ、オ上ガナサルノダト、斯ウ云フコトニ考
ヘテ居ルノデアリマス、而モ斯ウ云ツタ激
シイ差ガ其處ニ付イテ参リマス、單ニ馬
鹿馬鹿シイト云フコト以外ニ、一俵ニ付テ八
十錢モノ利潤ヲ付ケテ渡スナラバ、ソレヲ
モウ少シ我々ノ原木代ノ方ニ振向ケテ呉レ
ルナラバ、モウ少シ原木ヲ高ク買フコトモ
出来、我々トシテモ原木ガ手ニ入り易ク相
成ルデアラウモノヲ、ドウシテ斯ウ云フコ
トガ出来ナイノカ、若シカ是レガドウシ
テモ直セナイトスルナラバ、我々ハ寧ロ
此ノ炭ノ値段其ノモノニ對シテ更ニ値段ノ
吊上ヲ希望シ、若シ吊上ガ出来ナイトスル
ナラバ、獎勵金デモ出スト云フ風ナ方法ニ
シテ貰フナラバ、我々トシテ炭ガ思フヤウ
ニ焼ケルヤウニナルノデハナイカ、殊ニ我
我モ此ノ苛烈ナル戦局下ニ於テ、決シテ儲
カラスカラ焼カストカ焼クトカ云フ考ヘデ
ハナクシテ、實ニ山其ノモノヲ手ニ入レル
爲ニ、ドウシテモ是ハ要求サレルノデア
ト云フコトヲ切實ニ懇ヘテ居ルノデアリマ
ス、其ノ邊ノコトニ付テノ當局ノ御考ヘ
一ツ御示シ願ヒタイト思ヒマス

居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ原木ニ
付キマシテハ公定價格ガゴザイマセスノデ、
木炭ノ價格ト原木ノ價格トガ接近スル、隨
ヒマシテ、製炭夫ノ勞賃ガ非常ニ狭メラレ
ルト云フ風ナ實情ニアルノデアリマシテ、
國有林關係ノ多イ所デアリマシテハ、國有
林ガ相當積極的ニ安ク原木ヲ供給シテ居ル
デアリマシテ、或ル程度ノ「バランス」ハ取レ
ルノデアリマスガ、サウデナイ所デハ原木
ノ確保ガ得ラレナイデ、色々々獎勵ニモ拘
ラズ製炭ガ思フヤウニ進マナイト云フ所ガ
實際アルノデアリマス、從來地方ノ農業會
ナリ或ハ森林組合等デ、色々々原木ノ斡旋ナ
リ或ハ地方的ニ協定價格ノヤウナモノヲ作
リマシテ、木炭ノ價格ト睨ミ合セテ原木ノ
價格ヲ適當ナ所ニ調整ラシヨウト云フコト
ヲ努力ハ致シテ居ルノデアリマス、強
制力ガナイ爲ニソレガ不徹底デア、斯ウ
云フ風ナ點モ十分アラウト思フノデアリマ
ス、木炭ノ生産ガ非常ナ數量ニ上ツテ居
マス、此ノ生産ヲ確保シヨウト云フ
ヤウナ場合ニ於キマシテハ、原木ノ價格ニ
付テ何等カノ基準ヲ設ケテヤツテ行カケ
レバナラスト云フ風ナコトヲ私共モ痛感ラ
シテ居リマシテ、非常ナ強制力ヲ今直グ用
ヒヨウトハ考ヘテ居リマセスガ、何等カノ
形ニ於テ基準價格ガ確保サレテ、原木ガ相
當得ラレルヤウニ何等カノ方法ヲ講ジタイ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

云フヤウナコトニ致シテ居リマシテ、現在
デモ其ノ運賃其ノ他ノ出資以上ニ、政府ガ
約一俵ニ付テ二十錢程度ノ負擔ヲ致シテ居
ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ只今
御述ベニナリマシタヤウニ八十錢程度
ノ開キガアツテ、炭ガ現實ニ動イテ居
ラナイノニ左様ナコトニナツテ居ルト
云フヤウナコトデアレバ、全ク御話ノ
通りニ非常ニ不合理ダト思フノデアリマ
ス、御述ベニナリマシタ實情ニ付テハ即刻
調ベマスルガ、ソナニ開キガナイノデア
ナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ルノデア
マス、燃料統制組合ハ府縣單位ニ出來テ居
リマスルガ、大都市ニ参リマスル所ノ、大
都市ノ手數料ハ二十錢ナリ、或ハ二十五錢
位ニナツテ居リマスガ、農村方面ノ手數料
ハモツト安クナツテ居ル筈デアリマス、神
奈川縣ナラ神奈川縣一圓ニ、二十錢ナリ或
ハ二十五錢、農村デモ都會地デモ、ト云フ
コトニ決メマス、御述ベニナリマシタヤ
ウナ事情ニナルト思ヒマスガ、農村ト都會
トデハ手數料モ區別ヲ致シテ居ルノデア
マス、炭ノ種類ニモ依ルノデアリマスガ、
ソナニ開キハナイト思ツテ居リマス、是
ハ實情ヲ調ベマシテ、左様ナ不合理ガアリ
マシタナラバ、適當ニ直チニ修正ヲ致シタ
イト思ツテ居リマス、大體左様ニ考ヘテ居
リマス

○安藤委員 第一ノ質問ニ對シマスル
御答ヘト致シマシテ、今俄カニ強力ナル政
治力ヲ用ヒ、或ハ何等カ統制的ナ方式ヲ斷
行スルト云フ所マデハ斷言出來ナイクレドモ、
何トカシナケレバナラスト云フコトニ付テ
ハ深く考究シ、今後ニ於テ其ノ方向ヲ進ツ
テ行クト云フコトノ御答ヘヲ得マシテ、洵ニ
満足デアリマス、此ノ原木ヲ製炭業者ガ手
ニスルコトガ出來ナイト云フコトノ結果、
炭ガ出テ來ナイト云フコトハ、決シテ製炭
業者達ガ困ルノデハナイノデアリマス、製
炭業者達ノ多クヲ見マス、ソレハ大抵兼
業農家デアリマシテ、冬場ノ農閑期ヲ利シ
テ製炭ノ業ニ從フ者ガ多イノデアリマス、
決シテ炭ヲ燒カスカラト云ツテ、生活ニ困
窮スルト云フ人々デハナイノガ多イノデア
リマス、唯困ラレルノハ、國民カラ炭ヲ渡
セ炭ヲ渡セ、飯ヲ炊ク炭モナイデハナイカ
ト言ツテセガマレテ、一體當局ハ何ヲシテ
居ルカト罵倒サレ、怨嗟的ニナラレル御
當局ソレ自身デアリマス、同時ニ國民ノ困
ルコトデアリマス、ドウカ此ノ點ハ一ツ速
力ニ一層ノ馬力ヲ掛ケテ御進メ願ハレンコ
トヲ望ミマス、而シテ手數料ノ問題デアリ
マスガ、是ハ本日私此處ニ調査シマシタ資
料ヲ持合ハシテ居リマセス、明日デモ早速
ニ御手許マデ御届ケ致シマスガ、只今都會
ト農村トノ手數料ニ於テハ開キガ作ツテア
ルガ、農村ニ於テサウ云フヤウナ大キナ開
キノアル筈ハナイヤウナ御話デゴザイマシ
タガ、現實ニ確カニアリマス、産業組合、
卸商組合、小賣商組合、其ノ他總計五ツノ
「トンネル」ヲ潜ツテ居リマスガ、ソレガ御
話ノ如ク檜、松、栗、櫟ト云フヤウナ色々
ナ炭ノ種類ニ依ツテ、或ハ七十五錢トナリ、
或ハ八十五錢トナリシテ若干ノ相違ガアリ
マスガ、是ガケノ開キハ確カニアルノデア
リマス、ドウカ御調査ナサルト共ニ、更ニ
之ヲ是正ノ方向ヘ御進メヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス、ソレデハ私ノ關聯質問トシ
テハ是ガケデ終ツテ置キマス

○中村委員長 南郷君、鐵道省ノ堀木鐵道

監ガ御見エデアリマスカラ……

○南郷委員 私ハ私鐵ノ買収ノ問題ニ付キマシテ御尋ネテ致シタイと思ヒマス、政府ハ昨年北海道鐵道外十一鐵道ヲ御買収ニナリ、本年ハ又十四ノ路線ヲ買収ニナル提案ガナサレテアルヤウデアリマシテ、交通運輸ニ萬遺憾ナキヲ期セラレマスコトハ洵ニ御同慶ニ堪ヘマセヌ、就キマシテハ是等鐵道ノ買収ニ當リマシテ、買収ノ基準方針ト申シマスカ、買収ヲ御決定ニナル其ノ方針ヲ第一ニ承リタイと思ヒマス

次ニ私設鐵道ノ中買収サルベキ性質ノ豫定線ガ大體幾アルノカ、其ノ點ヲ先ヅ御尋ネ申上ゲマス

○堀本政府委員 今回買収鐵道ヲ選定致シマシテ方針ノ主ナルモノヲ舉ゲマス、一ツハ幹線輸送力ノ確保増強上必要ナモノデゴザイマス、二ツハ軍需生産ノ確保増強上必要ナモノデアリマス、其ノ他戦力増強上、戰時下ニ於ケル陸運綜合ノ輸送力ヲ最高度ニ發揮スルト云フ觀點カラ見マシテ、特ニ緊切ナルモノヲ選定致シマシテ譯デゴザイマス、今申上ゲマシテ點ハ其ノ方針デゴザイマスガ、一ツノ鐵道ガ或ハ其ノ二ツノ理由ヲ持ツテ居ルモノモアリマスガ、兎ニ角共ニ各、其ノ理由ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマス、何レモ現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ陸運ノ最高能力ヲ發揮致シマス爲ニハ、是非之ヲ政府ノ鐵道ト致シマシテ、一貫の運營ト云フモノヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙是等ノ問題ニ關聯致シマシテ、能ク問題ニナリマスコトハ、一體政府トシテ、然ラバ今後尙且ツ買収スル豫定線ハドレ位アルダラウカト云フ御尋ネノ問題ニ相成ル譯デゴザイマスガ、是等モ一般ノ

國ノ財政方針ナリ、或ハ其ノ年ノ國有ニ編入致シマス所ノ緊切ナル理由ノ如何ニ依リマシテ決マル問題デゴザイマシテ、豫メ總テ豫定致シマスコトモ如何カト存ジマシテ、取敢ズ本年ノ買収ト致シマシテハ、御手許ニ差上ゲテ居ルヤウナ線ヲ選定致シテ次第デゴザイマス

○南郷委員 大體分リマシタガ、一體路線ヲ御買上ニナルニ付キマシテ、何カ豫算上、本年ハドノ程度ノ金額デ是レノ路線ヲ買収スルトカ、豫算ヲ標準ニ置イテ居ラレバ、或ル程度豫算ニ制限サレズニ買ツテ行クト云フ御方針デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○堀本政府委員 御尋ネノ點ハ御尤モナ點デゴザイマスガ、實際問題ト致シマシテ、率直ニ申上ゲマス、御承知ノ通り以前ニハ相當金額上ノ制限ト申シマスガ、豫算上ノ制限ト申シマスガ、或ル程度ノ、大體其ノ年度ニ買収致シマス鐵道ニ付テノ、慣例的ナ金額ノ限度ガ相當強ク響イテ居リマシタ、併シ御承知ノ通り最近ハ現下ノ情勢上非常ニ緊切ナルモノガアリマスノデ、ソレ等ノ點等ト睨ミ合セマス關係カラ、昨年度カラ相當多數ノ鐵道ヲ買収スルトニ致シタ譯デアリマス、併シナガラソレデハ一般財政的ノ考慮ハナイノカト云フ點ニナリマスト、ソレハサウ簡單ニハ參リマセヌノデ、何ト申シマシテモ、緊要性ト財政トノ關聯ヲ睨ミ合セマシテ、決定致スヤウナ狀況ニナツテ居リマス

○南郷委員 大體分リマシタガ、兎ニ角時局ノ要請ニ促サレテ、至急ヲ要スルモノヲ買上ゲルト云フコトガ、一番大事ナ條件ニ

ナツテ居ルヤウデアリマス、就キマシテハ過去、現在ノ此ノ戰爭ニ對スル物ノ輕重ト云フコトカラ考ヘマスルト、大分考ヘ方ガ違ツテ來テ居ルヤウデアリマス、前ニ於テハ一ニモ金一ニモ金、金ヲ採ル爲ニハ、鑛石ヲ運搬スル爲ニハ、相當ナ無理ナ金ヲ出シテ、又無理ヲ忍ビテ路線ヲ或ル程度買収スルトカ、色々過去ト現在トハ大分違ツテ居ル、今日ハドウカト云フト鐵道カ銅トカ或ハ石炭、油ト云フヤウナモノガ何ヨリモ必要デアアル、斯ウ云フ風ニナツテ來テ居ル譯デアリマス、又林産物ノ方ニ付キマシテモ、最初ハ非常ニ木炭ヲヤカマシク言ツタ、今日デモヤカマシク言ツテ居リマス、其ノ次ハ木材ノ増産ヲ非常ニヤカマシク言フヤウニナリマシタ、最近ハ又飛行機ノ問題ト關聯致シマシテ「ベニヤ」板トカ云フヤウナモノ、次々ニ要請ガ變化ヲスルノデアリマス、又軍ノ色々施設、急ニ軍ノ施設ヲ要スルト云フヤウナ問題ガ突發致シマシテ、必要條件ト云フモノガ次々ニ變ツテ來ルト云フ情勢ニアリマス、斯ウ云フ變轉極リナキ情勢ノ下ニ、此ノ鐵道ノ買収ト云フヤウナモノモ、現在ヲ考ヘテヤルコトモ必要デアアルガ、將來ヲ豫想シテ買収ヲ考ヘテ行クト云フコトモ、非常ニ必要ナ問題ダと思ヒマス、無論時代ノ要請ト致シマシテハ、目ノ前ノコトヲヤルト云フコトガ當然デアリマスガ、又ヤツタ後ハ必要ガ薄イト云フヤウナ問題モ、多々アルノデハナイカト想像サレルノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラ參リマシテ、今日ハ軍需ニ直接關係ノナイ交通ト輸送力ト云フモノハ殆ドナイノデハナイカ、所デ其ノ輕重ヲ考ヘラレマシテ、路線ノ選定ヲサル、ニ當リマシテモ、是ハ人ノスルコト

デアリマスカラ中々思フヤウニ行カヌダラウ、一説ニハ鐵道ノ買収ハ餘程運動シナケレバ出來ヌゾ、ヤハリ當局ト常ニ折衝ヲシテ認識ヲ深メナケレバ、買収ハ中々難カシイト云フ話モ聞ク、サウ云フコトハナイダラウトハ思ヒマスガ、事實ニ據ナリトスレバヤハリ中々是ハ難カシイ問題デアアル、斯ウ思フ次第デアリマス、就キマシテハ昨年、本年ハ大體十二三ノ路線ヲ御買収ニナツテ居リマスガ、ヤハリ今後共サウ云フ注意ノ下ニ御買収ニナル御意思ガアルノデアリマスカドウカ、御伺ヒ致シマス

○堀本政府委員 實ハ買収ノ路線ヲ選定致シマスノハ、政府當局ダケノ考ヘ方デナシニ、鐵道會議ノ諮詢ヲ經、嚴密ナ審査ヲ經マシタ上デ出シテ居リマスノデ、無論私共ト致シマシテモ、全國的ニ輕重ヲ判斷スルノニ慎重ヲ期シマス同時ニ、今申上ゲタヤウナ手續ヲ經テ致シテ居ル次第デゴザイマス、尙仰セラレマスヤウニ最近ノ國ノ情勢カラ見マス、重要物資、軍需ニ直接關聯アルモノ及ビ國民生活ニ關聯アルモノ、實際ノ問題トシテ輸送力其ノモノガ一番國ノ力ヲ決定スルヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマスノデ、交通機關トシテハ實ハ其ノ點ニ付テハ從來以上重要性ガ増シテ參ツテ居ル譯デゴザイマス、同時ニ仰シヤイマスヤウニ最近ノ事象ハ非常ニ變リマスノデ、或ル地帯ニハ急速ニ國ノ重要ナ、軍關係施設ヲ初メトシテ、或ハ國內資源ガ開發サレルトカ、各般ノ目マグルシイ變轉ヲ見セテ居リマスガ、是等ヲ睨ミ合セマシテ買収ヲ決定致シテ行カナケレバナラス、尙又御話ニアリマシタヤウニソレガ實際將來ニ於テハ幹線輸送力ノ増強ニ資スル、或ハ軍需生産ノ上ニ資ス

ル直接緊要ナモノデアルト云フ、將來性ニ對スル見透シヲ持タケレバナラス、是等ヲ睨ミ合セマシテ、今ノ情勢デゴザイマスト、地方鐵道ノ買収ハ今後モヤハリ起リ得ルモノデアアル、旁、大臣ガ議會デモ申上ゲテ居リマスヤウニ、日本ノ國ニ於キマス鐵道ハ、幹線ト一體運輸ヲナスベキモノニ付キマシテハ、何ト申シテモ國有ヲ本則ト致シテ居リマス、其ノ建前デ參ツテ居ル點カラ鑑ミマシテモ、今後モアルベキモノダト云フコトハ、ハツキリ申上ゲラレト存ジマス

○南郷委員 能ク分リマシタガ、兎ニ角鐵道ノ建前カラ私鐵ヲ順次官線ニ改メテ行クト云フコトハ、是ハモウ原則デアリマス、無論將來トモ私鐵ヲ御買上ニナルト云フコトハ、繼續セラレルモノト考ヘラレノデアリマス、就キマシテハ此ノ際一ツ御願ヒヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、昨午カラ今年御買上ニナリマシタ路線ニ付テ特色檢討シテ見マスルト、只今御説明ノアリマシタ通り正シク時局ノ要請ニ必要ナル路線、或ハ幹線ト直接關係ノアルヤウナ路線ヲ御選定ニナツテ居ル、併シ斯ウ云フ路線ハマダ外ニモ澤山アルノデアリマス、私ハ鹿兒島縣デアリマスガ、鹿兒島縣ノ南薩鐵道ノ如キハ、幹線ト最モ密接ナル關係ヲ持テ、而モ縣内ノ二郡ヲ縱貫致シマシテ、物資モ相當ニアル、然ルニ拘ラズ私鐵デアアルガ爲ニ實ニ輸送力ガ缺ケテ居ル、又幹線トノ連絡ト云フヤウナコトモ實ニ不確實極マツテ居ル、斯ウ云フコトハ運通省トシテモ能ク御承知ニナツテ居ル問題ダト思ヒマス、然ルニモ拘ラズ今日マダ御買上ヲシテ載クコトガ出來ナイ、兎角鹿兒島トカ沖繩ト云

フナヤウ所ハ、東京デ考ヘマスト片隅ニアリヤウナ感じガシテ、物ノ考ヘ方ガハツキリシナイノデアリマス、隨ツテ鐵道ノヤウナ問題モ眞劍ニ考ヘテ戴クコトガ出來ヌノデハナイカ、斯ウ考ヘマシテ付加ヘマシテ、斯ウ云フ鐵道ノ認識ヲハツキリシテ、能ク御取調ヲ願ツテ、出來ルダケ早ク國鐵ニ御買上ヲシテ戴キタイト考ヘテ居リマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○中村委員長 銀行保險局長ハ損害保險ノ方ノ責任局長デ向フニ當ツテ居ラレタラシイデスガ、田下君カラ要求ガアリマシタノデ、次官ト交替シテ今出席シテ居リマス、簡單デシタラ此ノ際御濟マシ願ヒタイト思ヒマス

○田下委員 私ハ保險ノコトニ付テ簡單ニ質問申上ゲタイト思ヒマス、主トシテ生命保險會社ノコトデアリマス、無論其ノ他ノ保險ニモ關係ヲ持ツテ居リマス、保險會社ガ今日會社自身ガ標榜シテ居ルヤウニ、最モ確實ナル貯蓄機關デアアルコトハ我々能ク承知シテ居リマス、又國民ノ生命傷害ニ對シテ、特別ノ條件ヲ付シテ特別ノ貯蓄機關トシテ、今日日本當ニ立派ナ役割ヲ果シテ居ルコトハ認メテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ澤山ノ貯蓄デ得タ資力ヲ以テ、今日年々發行セラレル所ノ龐大ナル公債ノ消化ニ付テモ、重要ナ役割ヲシテ居ルコトモ我々認メテ居リマス、斯様ナ譯デアリマシテ今日保險會社ノ使命ハ國民個々ノ問題ヲ離レマシテ、國家ニ最モ重要ナル貯蓄、公債ニ關スル、即チ國家的目的ヲ果ス重要ナ機關デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯様ナ重大ナル目的ヲ持ツテ居リマス保險會社ガ近年非常ニ堅實ナ經營ノ方針ヲ以テヤツテ來

テ居ルコトモ認メテ居リマス、併シ澤山アル會社ノ中ニハ、一流、二流、三流トカ言ハレマシテ、財界ノ變動或ハ豫想セラレテ居ル空襲時ニ於ケル保險會社ノ責任、使命ヲ十分果スコトガ出來ルカドウカ、非常ニ一部ニ憂ヘラレテ居ルノデハナイカト思ヒマス、契約金ガ如何ニ龐大デアアルカ其ノ會社ガ堅實デアルト私共申スノデハアリマセス、其ノ内容、經營等ニ於テ形式ガ非常ニ備ハツテ居リマシテモ、不確實デアリ、或ハ極メテ契約金ガ少クトモ堅實ナ會社ガアルカモ知レマセス、兎ニ角澤山ノ會社ノ中ニハ來ルベキ經濟界ノ變動、或ハ空襲時ニ對スル用意等ニ於テ、十分ニ責任ヲ果スコトガ出來ルカドウカト云フヤウナコトガ一部ニ危懼セラレテ居リマス、私ハ斯様ナ國家ニ重要ナル目的ヲ持ツテ居ル保險會社、又來ルベキ非常ニ澤山ノ危險ヲ持ツテ居ル所ノ會社ハ、須ク今日最モ數ノ少イ有力ナモノニ統合シテ、基礎ヲ堅實ニシテ、一ハ國民ノ安全感ヲ十分ニ果シ、又國家目的ヲ達スルコトガ適當デハナイカト考ヘルノデアリマス、即チ私ノ申上ゲタイコトハ、今日保險會社ハモット極メテ少イ數ニ統合スベキデハナイカ、合同スベキデハナイカト云フ意見デアリマス、尙、又今一ツノ面カラ考ヘテ見マス、此ノ保險會社ノ末端的ノ事務機關、即チ地方ニ於ケル支部或ハ代理店ナドノ狀態ヲ考ヘテ見ル時ニ於キマシテ、申上ゲルマデモナク、下ノ市町村ニ於テモ、保險會社ノ支部、代理店ノ看板ガ澤山掛カツテ居ル、其ノ經營ノ面カラ見テモ極メテ無駄ナ營業費ガ費サレテ居ルノデハナイカ、又加入者ヲ多數得ンガ爲ニ競争シ、或ハ色々ナ不徳義ガ其ノ間ニ醸成サレ

テ居ルト云フコトヲ多々聞イテ居ル、今日色々ノ業種ニ於テ整理統合ガ行ハレテ居リマスガ、大東亞戰爭ハ無論支那事變以前ノ所謂自由主義時代ノ殘骸ヲ遺シテ居ルノハ、保險會社ノミト云ツテモ宜イト思フ、隨テ經濟ノ面ニ於テノミナラズ、思想的方面ニ於テモ整理シテ極メテ有力ナ保險會社ヲ存續シ、ソレニ依ツテ國家的使命ヲ果サセルノガ今日ノ急務ト考ヘマスガ、當局ノ御意見ヲ承リタイ

○山際政府委員 保險會社、殊ニ生命保險會社ガ、今日國家ノ要請デアアル貯蓄增強ノ機關トシテ、且又經濟秩序ヲ維持シ、國民生活ヲ安定スル會社ノ國家的機關トシテ、非常ニ働イテ居ルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、只今ノ御話ノ中ニ、斯様ナ機關デアリナガラ、規模ノ狭小等ノ關係ニ於テ、稍、不堅實視サレテ居ルガ如キモノガアルヤウデアリマスガ、斯カルモノガ果シテ能ク國民ノ負託ニ副ヒ得ルヤト云フ御尋ネデアリマシタガ、今日存在ヲ認メテ居ル會社ハ、何レモ當局ノ監督統制ノ下ニ、十分堅實ナ内容ニ於テ經營ヲ致サセテ居ルモノデアリマス、隨テ其ノ取扱ツテ居ル契約ノ履行ニ關シテハ、國家ガ十分ナル保障ヲ持ツテ、其ノ破綻ナキコトヲ、何ト申シマスカ、保證シテ居リマス、苟クモ今日必要ナ貯蓄增強ニ付テ、保險ノ加入ヲ獎メテ居ル關係上、其ノ保險會社ニ破綻ヲ生ズルヤウナコトガアツテハ、一保險會社ノ問題デハナク、國家ノ問題デアリマス、斯様ナ見地ニ於テ今日ノ保險會社ハ如何ナル事能ガ起ツテモ、國家ノ負擔ニ於テ履行サセルト云フ方針ヲ執ツテ居リマス、今御話ニアリマシタヤウニ、相成ベクハ左様ナ外見ヲ呈スルモ

ノノナキコトが望マシイト考ヘマス、各種ノ店舗ノ重複トカ、競争ノ不必要ヲ激化トカ、改善ヲ要スル點モ多イヤウデアリマスカラ、統合ヲ要スルト云フ問題ニ關シマシテハ私共モ同様ニ考ヘテ居リマス、現ニ從來ノ方針ト致シマシテモ、當局ニ於キマシテハ國家ノ要請ニ副ヒマシテ、保險會社ノ機能ノ効率ヲ増加致シマス見地カラ、保險會社ノ統合ヲ進メテ參ツテ居リマス、例ヘバ生命保險會社ニ關シマシテハ、昭和十六年ノ一月ニ於キマシテハ三十二社アツタノデアリマスガ、昨年末ニ於キマシテハ二十二社、三ヶ年間に約三分ノ一ガ統合セラレテ居ルデアリマス、又損害保險會社ニ關シマシテモ、昭和十六年ノ一月ニハ四十八社アツタノデアリマスガ、現在各社ノ合併談モ成立シテ居リマシテ、結局其ノ手續ガ完了致シマシタ曉ニ於キマシテハ、十八社ニ相成ル豫定ニナツテ居リマス、斯様ナ次第デアリマシテ、會社自體ノ整理統合モ、ヨリ以上ニ保險會社ノ機能ヲ發揮サセマス爲ニ逐次進行中デアリマス、又其ノ會社ノ手足トナツテ居リマス支部、代理店ノ重複關係ノ整理、是モ只今御指摘ノヤウナ多數ノ機構ノ間ニ於キマシテハ、少カラザル無駄モ存在スルヤニ認メラレルデアリマス、之ニ關シマシテハ逐次統合ヲ進メ、整理ヲ進行致サセマシテ、最モ各店舗ガ能率良ク、時局ノ要請ニ副ヒ得ルヤウニ仕向ケタ、斯様ナ考ヘヲ以チマシテ、ヤハリ最モ整理統合ノ方針ヲ執ツテ居ルデアリマス、今後ニ於キマシテモ、會社ノ整理統合竝ニ其ノ會社ノ手足タル店舗ノ整理統合ハ、當局ノ方針ト致シマシテ強力ニ推進致シタイ考ヘデアリマス、唯併シナガラ御承知ノ如

ク斯カル種類ノ統合ハ、徒ニ之ヲ形式的ニ強要ヲ致シマシタリ、或ハ形ダケ減ラセバ宜イト云フ考ヘ方デ行キマスナラバ、實際ノ能率ハ低下スル虞レガアルデアリマス、又豫期セザル摩擦モ生ズル虞レモアルデアリマス、ソコハ關係者篤ト時局ヲ認識致シマスルヤウニ仕向ケマシテ、最モ圓滑ニ、且ツ不必要ナル摩擦ヲ避ケツ、其ノ統合ノ實ガ舉リマスルヤウニ、今後一層努力ヲ致シタイ考ヘデアリマス、尙多數保險會社ノ使用人ノ中ニ時局ニ對スル頭ノ切替ヘノ十分デナイ者ガアルト云フ點ノ御質疑ニ付キマシテ或ハ多數ノ使用人ノ中ニハ様ナ者モアルカト考ヘマスケレドモ、是ハ尙一層御互ニ反省シ、會社當局ヲ督勵致シマシテ、極力左様ナ者ノゴザイマセヌヤウニ、今後強力ナル指導ヲ續ケタイト考ヘテ居リマス、以上御答ヘラ致シマス

○田下委員 當局ノ御趣旨ヨク分リマシタ、仰セノ通り今日ノ會社ノ監督等ニ於キマシテハ、決シテ危惧ノ念ヲ起サセルヤウナコトナク、十分ニ行キ居イテ居ルコトト私存ジテ居ルデアリマス、先程モ申シマシタヤウニ、經濟界ノ變動ト云フヤウナコトハ此ノ戰爭ガ進捗致シマスニ付キマシテ、如何ヤウニ相成ルカ分ラヌ點モアリマス、又先程モ申シマシタヤウニ、左様ナコトガ我々ハナカラソコトヲ祈ツテ居ルデアリマスガ、空襲等ノ場合ニ於キマシテ、保險會社ノ受クル被害ト云フモノモ多大ナコトガ、或ハ想像出來ルデハナイカト思フデアリマス、左様ナ點カラ參リマシテ一層此ノ基礎ヲ堅實ニスルト云フコトガ今日必要ダト思フデアリマス、併シ政府ノ方針トシテ合同ヲ促進スルヤウニ指導シテオイデ

ニナルト云フコトハ分ツテ居リマスガ、斯様ナコトハ行キ過ギカモ知レマセヌケレドモ、二十二社ノ生命保險會社ノ如キハ、私ハ五ツカ六ツノ特殊ノモノヲ持ツテ居ル會社ニ合同シテモ、其ノ運用宜シキヲ得レバ、只今御話ノヤウナ、或ハ摩擦トカ、或ハ又機能ヲ損スルトカ、減退スルトカト云フヤウナコトナシニ行ケルデハナイカ、或ハ傷害保險ノ如キデモ同様ナコトデアリマス、左様ナ風ニ私ハモツト數ヲウント減シテモ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス、ソレカラ地方ノ如キモ小サイ町トカ或ハ市ノ如キハ、代理店トカ支店ノヤウナモノハ、一ツカ二ツアレバ澤山デアリマス、モツト統合スベキデハナイカ、ドノ市ニ行キマシテモ町ニ行キマシテモ、生命資材或ハ其ノ他ノ保險會社ノ代理店、支部ノ建物ガ實ニ堂々タルモノガ五ツモ六ツモ竝ンデ居リマス、私ハ是ハ今日實ニ建築物ノ不足ノ時ニ於テ無駄ナコトデアアル、斯ウ云ツタコトハ止メレバ止メラレルと思フデアリマス、決シテ機能ヲ損セズシテ其ノ使命ヲ十分ニ果シ得ルヤウニ、數フ少ク合同シ得ルデハナイカト思フデアリマス、是非當局ノモツト強力ナル此ノ合同ノ指導方針ヲ實現シテ戴キタイと思フデアリマス、更ニ此ノコトニ付キマシテハ進ンダ言明ヲ戴ケレバ尙結構ダと思ヒマス

○山際政府委員 保險會社ノ統合ヲ將來モ尙從前ニ引續キ進抄サセルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、唯目標トシテ、然ラバ五社程度ガ宜イデアアルカ、或ハ十社程度ガ宜イデアアルカ、乃至ハ如何ナル形ガ適當デアアルカト云フヤウナ具體的ノ輪郭ニ關シマシテハ、此ノ際此處デ申上ゲルコトモ如何カト存ジマスルノデ差控ヘルコトト致シマスガ、何レニ致シマシテモ、御趣旨ノ存スル所ハ洵ニ御尤モト存ジマスカラ、今後共保險會社ヲ統合致シマシテ、其ノ機能ヲ最モ効率ヨク發揮サセルコトニ付キマシテハ、最善ノ努力ヲ續ケタイ考ヘデゴザイマス

○田下委員 此ノ統合ニ付テ私一ツノ隘路ガアリ、支障ニナツテ居ル點ガアルノデヤナイカト思フデアリマス、併シ是ハ一面カラ申シマス、保險會社ノ經營ノ方面カラ行クト、或ハ適當ナコトデアアルカモ知レマセヌガ、ソレハ保險會社ガ近頃大財閥トカ、中財閥トカ色々云ハレマスガ、其ノ財閥ノ傘下ニ皆集マツテ居ルト云フコトデアリマス、ソレハ其ノ保險會社ノ基礎ヲ安定セシメル上ニ於テ已ムヲ得ザルコトデアリ、或ハ當然ノコトデアアルトハ思フデアリマスガ、統合サセルニ付テハ是等ハ非常ニ支障ヲ來シテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、併シ政府ノ監督竝ニ御指導ノ立場カラ申シマス、ソシテモ、我々カラ見マスト外ノ色色ノ業種、其ノ他カラ考ヘテ見マシテモ、斯ウ云ツタコトガ合同或ハ統合ノ隘路ヲナシ、邪魔ニナツテ居ルノデナイカト思ヒマスカラ、政府ハ相當一ツ勇敢ニヤツテ戴キタイト云フコトヲ附加ヘマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○中村委員長 厚生省ノ政府委員ハ出席シテ居リマセヌカラ、保留サレテ他ノ質疑ニ移ツテ戴キマス——田中君、農商省ノ政府委員ガオイデニナツテ居リマスカラ農商ノ問題ニ付テ……
○田中(勝)委員 一寸重政政府委員ニ御尋

ネナリ御願ヒテ申上ガテ置キマス、私ノ伺
ツタ所ニ依ルト、新シイ非常ニ新シイ農業ガ
統制藥品ノ中ニ入ルノハ中々困難デアルト
云フコトデアリマス、御承知ノ通り新シイ
藥品ハ、先ヅ統制會社ヲ通ジテ試驗願フ出シ、
農商省農事試驗場ニ於テ試驗ヲサレ、其ノ
結果ヲ農藥審議會ニ提出シテ、其ノ審査ニ
合格シタモノヲ統制會社ガ取扱フ、斯ウ云
フ手續ヲ取ルコトニナツテ居リマスガ、此
ノ機構ガウマク運營サレ、バ結構ダガ、其
ノ運營ヲ誤ツテサレルナラバ、新シイ優良
ナル農藥ノ進出ヲ妨ゲ、既得權ヲ持ツテ居
ル農藥製造會社ノ利潤保證ト云フヤウナコ
トニナツテ、國家ノ爲ニ洵ニ歎カハシイ狀
態ガ起ルノデハナイカト云フコトヲ心配シ
テ居リマス、サウ云フコトガアツテハナラ
スト思ヒマスガ、現實ノ問題トシテハ、指
定農藥ノ中ノ硫黃劑ニ例ヲ取ツテ申上ゲル
ナラバ、「コロイド」硫黃劑トシテ現在市販シテ
居ルモノノ中ニ、隨分如何ハシイモノガア
リマス、併シ私ノ承知シテ居ル所ノ「コロイ
ド」硫黃劑ハ、大體硫黃ト云フモノハ御承知
ノ通り其ノ精鍊ニハ非常ニ貴重ナ燃料モ要
ル譯デアリマス、併シ今私ガ申上ゲル「コロ
イド」硫黃ト云フモノハ、現在ノ所謂硫黃劑ノ
原料トシテ使フ硫黃ノ精鍊ニハ使用困難ト
セラレテ居ル粉礫、沈澱硫黃礦ヲ用ヒテ、
貴重ナル燃料ヲ殆ド用ヒズ、而モ其ノ製品
ハ本當ノ「コロイド」狀デアリマス、隨テ硫
黃粒子ト比ベテモ其ノ藥效の働キニ於テハ
十分價值アルモノデアリマス、此ノ優秀ナ
品ガアルニモ拘ラズ、尙公認ノ農藥トシ
テ取扱ハレテ居ラスト云フ事實ガアリマス、
之ニ付テハ動物試驗ガ済ンデ居ラスト云フ
コトガ理由ニナツテ居リマスガ、試驗願フ

出シテ一年ニナツテモ尙其ノ結果ガ分ラ
スト云フヤウナコトデハ、新農藥ノ進出、
農藥ノ進歩改善ノ上ニ於テ甚ダ歎カハシイ
狀態デアルト思フ、試驗ニ一年モ掛カルト
云フノハドウカト思フヤウナ點スラアリマ
ス、ソコデ一般ノ農藥統制ニ付テ御注意ヲ
願ヒタイト共ニ、試驗ト云フコトノ爲ニ、
優良ナル新農藥品ノ進出ガ非常ニ遅レルト
云フコトハ甚ダ残念デアルト思ヒマスノ
デ、此ノ點ニ付テ十分御研究ト御努力ヲ願
ヒタイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御所見ヲ
承リタイ

致シマス同時ニ、其ノ新製品ノ效果ニ付
キマシテハ十分檢討ヲ致シテ居リマス、即
チ苟クモ是ガ食糧増産ニ弊害ヲ及ボストカ、
農家ノ經營ニ邪魔ニナルト云フヤウナモノ
デアツテハ相成ラナイ譯デアリマスカラ、
慎重ナル態度ヲ以テ是ガ檢討ヲ致シテ居ル
ヤウナ譯デアリマス、具體的ニ御述ベニナ
リマシタ硫黃劑ニ付キマシテハ、私十分承
知致シテ居リマセヌガ、サウ云フ譯デ、
決シテ新製品ヲ特ニ認メナイト云フヤウ
ナ考ヘハ全然持ツテ居ラナイノデアリマス、
具體問題ニ付テハ一ツ能ク調査ヲ致シマシ
テ、適當ナ機會ニ又御懇談ヲ致シタイト考
ヘマス

ナケレバナラス、或ハ又物ニ依ツテハ出來
ルダケ之ヲ均分ニ公平ニヤラナケレバナラ
ス、色々物ニ依ツテ其ノ目的ガ違ツテ居リ
マスガ、要スルニ物資ガ非常ニ減ツテ參リ
マシタ關係上、之ヲ從來ヤツテ居リマシタ
方面ノ自由意思ニ之ヲ委シテヤルコトハ、
是ハ戰爭ヲヤツテ行ク上ニ於キマシテ非常
ニ困ルト云フ意味デ統制機構ヲ設ケタノデ
アリマス、其ノ統制機構ハ或ハ統制會社ヲ
以テ適當ト認メタモノモアリマス、或ハ又
所謂統制組合ト云フヤウナ機構ヲ行ツタ方
ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘマシテヤツタ
モノモアリマス、兎ニ角物ニ依リ又必要ノ
度合ニ應ジテ、現實ノ問題トシテ之ヲ或ハ
會社トシ、或ハ組合トスルト云フヤウナコ
トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

○重政政府委員 只今御述ベニナリマシタ
通り、農藥ノ新製品ニ付キマシテハ、御承
知ノ通りニ在來ノ農藥製造ノ資源ガ色々少
クナツテ參ツテ居リマスノデ、代用品等ニ
付キマシテ色々研究致シテ居リマスシ、
既ニ代用品ヲ使ツテ成績ヲ擧ゲテ居ルモノ
モアル譯デアリマシテ、私共トシテハ只今
御述ベニナリマシタヤウナ新製品ニ付キマ
シテハ、出來ルダケ關心ヲ持ツテ取扱ヲ致シ
居ル譯デアリマス、其ノ取扱方ニ付テハ、
御述ベニナリマシタ通り、第一ニ國立農
事試驗場ニ於テ試驗ノ方法ヲ決定シテ、適
當ナ試驗地ヲ選定致シマシテ、地方農事試
驗場ニ委託ヲスル分モアリ、或ハ自ラヤルモ
ノモアル、之ニ依ツテ得テ試驗ノ結果ヲ中
心ニ致シマシテ、農藥審議會ニ於テ——是
ハ農事試驗場並ニ本省ノ係官、統制會社ノ
其ノ方面ノ專門家等ガ寄ツテ構成シテ居リ
マスガ、ソコデ其ノ試驗ノ結果ヲ中心ニシ
テ、其ノ製造ノ量其ノ他規格等ニ付テモ決
定ヲ致シ、之ヲ農藥トシテ使用セシメル、
斯ウ云フ筋道ニナツテ居ルノデアリマシテ、
優良ナル新製品ノ出現ヲ私共ハ非常ニ歡迎

○田中(勝)委員 只今ノ御答ヘヲ得マシテ
私満足ニ思ヒマス、後程懇談ノ機會モアル
ト思ヒマスガ、一ツ十分御調べ願ヒマシ
テ、試驗シテ一年モ掛カルト云フヤウナコ
トハ、成ベクナイヤウニ願ヒタイト思ヒマ
ス、是デ終リマス

○中村委員長 安藤君
○安藤(覺)委員 極メテ簡單ニ申上ゲマス
ガ、先ヅ以テ御尋ネ致シタイコトハ、會社
ノ農林省時代ニ於ケレマシテ、各種ノ統制
會社或ハ統制組合ト云フモノヲ御主唱ノ下
ニ御作りニナツタノデアリマスガ、願ハク
ハ其ノ當時ニ於ケルサウシタ統制會社ヲ作
ラナケレバナラナカッタ原因、竝ニ作レニ當
ラレテノ理念ト云ツタヤウナモノヲ、極メテ簡
單ニ一應御示シテ願ヘレバ洵ニ幸ヒデアリ
マス

○重政政府委員 私共ノ所デモ御承知ノ通り
色々統制會社ヲ作ツテ居リマスガ、是ハ端
的ニ申シマスレバ物資ガ漸次減ツテ參ル、
之ヲ物ニ依ツテハ重點的ナ配當制當ヲ致サ
ナケレバナラス、或ハ又物ニ依ツテハ出來
ルダケ之ヲ均分ニ公平ニヤラナケレバナラ
ス、色々物ニ依ツテ其ノ目的ガ違ツテ居リ
マスガ、要スルニ物資ガ非常ニ減ツテ參リ
マシタ關係上、之ヲ從來ヤツテ居リマシタ
方面ノ自由意思ニ之ヲ委シテヤルコトハ、
是ハ戰爭ヲヤツテ行ク上ニ於キマシテ非常
ニ困ルト云フ意味デ統制機構ヲ設ケタノデ
アリマス、其ノ統制機構ハ或ハ統制會社ヲ
以テ適當ト認メタモノモアリマス、或ハ又
所謂統制組合ト云フヤウナ機構ヲ行ツタ方
ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘマシテヤツタ
モノモアリマス、兎ニ角物ニ依リ又必要ノ
度合ニ應ジテ、現實ノ問題トシテ之ヲ或ハ
會社トシ、或ハ組合トスルト云フヤウナコ
トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

○安藤(覺)委員 只今御答ヘヲ戴イタノデ
アリマスガ、成程御話ノ如ク支那事變ヨリ
大東亞戰爭ヘト段々ト戰局ノ段階ガ嚴シク
進ンデ參リマシタ、其ノ間ニ於ケル色々ナ
關係カラ現實ニ物ガ少クナツテ來タ、其ノ
物ガ少クナツテ來タ時ニ尙自由奔放ナル
意思ニ於テ之ヲ生産シ、或ハ賣買スルト云
フコトデアツテハ困ルト云フ所カラ、統制
會社或ハ統制組合ト云フヤウナモノガ出來
タト云フコトノ御説明デアリマシタ、而シ
テソコデ私ハ質問ノ要旨ヲ進メタイノデア
リマスガ、物ガ少クナツタ、ソコデ之ヲ尙
且ツ此ノ少イ物ノ中ニ於テ勝手ニ、自由主
義時代ノ時ノヤウニ、當然物ノ少イコトニ
依ツテ騰貴シテ來ル、或ハ暴騰シテ來ル品
物ヲ自由ニ賣買シ、自由ニ放任シテ置クト
云フコトノ結果トシテ、恐レベキ惡影響
ヲ憂慮セラレテ出サレタスルナラバ、茲
ニ必然的ニ考ヘラレテ來ナケレバナラナイ

○中村委員長 安藤君
○安藤(覺)委員 極メテ簡單ニ申上ゲマス
ガ、先ヅ以テ御尋ネ致シタイコトハ、會社
ノ農林省時代ニ於ケレマシテ、各種ノ統制
會社或ハ統制組合ト云フモノヲ御主唱ノ下
ニ御作りニナツタノデアリマスガ、願ハク
ハ其ノ當時ニ於ケルサウシタ統制會社ヲ作
ラナケレバナラナカッタ原因、竝ニ作レニ當
ラレテノ理念ト云ツタヤウナモノヲ、極メテ簡
單ニ一應御示シテ願ヘレバ洵ニ幸ヒデアリ
マス

○重政政府委員 私共ノ所デモ御承知ノ通り
色々統制會社ヲ作ツテ居リマスガ、是ハ端
的ニ申シマスレバ物資ガ漸次減ツテ參ル、
之ヲ物ニ依ツテハ重點的ナ配當制當ヲ致サ
ナケレバナラス、或ハ又物ニ依ツテハ出來
ルダケ之ヲ均分ニ公平ニヤラナケレバナラ
ス、色々物ニ依ツテ其ノ目的ガ違ツテ居リ
マスガ、要スルニ物資ガ非常ニ減ツテ參リ
マシタ關係上、之ヲ從來ヤツテ居リマシタ
方面ノ自由意思ニ之ヲ委シテヤルコトハ、
是ハ戰爭ヲヤツテ行ク上ニ於キマシテ非常
ニ困ルト云フ意味デ統制機構ヲ設ケタノデ
アリマス、其ノ統制機構ハ或ハ統制會社ヲ
以テ適當ト認メタモノモアリマス、或ハ又
所謂統制組合ト云フヤウナ機構ヲ行ツタ方
ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘマシテヤツタ
モノモアリマス、兎ニ角物ニ依リ又必要ノ
度合ニ應ジテ、現實ノ問題トシテ之ヲ或ハ
會社トシ、或ハ組合トスルト云フヤウナコ
トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

トデヤツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス

ノハ、此ノ統制サレタ會社ナリ組合ナドニ付テ、被統制者側ノソレマデノ生活ナリ何ナリト云フモノヲ、多分ニ考慮ニ入レラレテノコトデアツタラウト思フノデアリマス、而シテ此ノコトハ從來トモ前議會或ハ前々議會等ニ於テ、同僚諸君カラ幾度カ既ニ論議ノ的トナツタモノデアリマスガ、今コソ私ノ申上グベキ問題ハ、當局ニ於テ眞劍ニ再考檢討ヲ加ヘテ戴カナケレバナラス時期ガ來タノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレハ他デモアリマセヌ、只今ノ總務局長ノ御答辯ニアリマシタヤウナ趣旨ニ於テ作ラレタ會社ナリ組合デアリマス、而シテ之ヲ作ル當時ニ於キマシテハ、ソレ等ノ傘下ニ入ル人々ノ從來ノ生活ニ於テ得テ居ツタ利潤或ル程度補償シナケレバナリマセヌ、ソコニ色々ナリ等ノ統制會社或ハ統制組合等ニ對スル利潤ト云フモノヲ、相當高率ニ認メラレノ已ムヲ得ナカツタ狀態ハアツタラウト思フノデアリマス、所ガ話ガ變リマスガ、近時地方農村或ハ各町町等ニ行キマシテ、何時デモ我々ノ耳ニシマスコトハ、先程モ申上ゲマシタヤウナ、前議會或ハ前々議會ニ於テ指摘サレタ所ノ、即チ統制會社或ハ組合ノ手數料、斯ウ云ツタモノノ餘リニ高キニ失スルコト云フコトデアリマス、先程山林局長ニ炭ノ場合ニ於テ御尋ネシタノデアリマスガ、偶、之ニ關聯シテ其ノ一例トシテ茲ニ取上ゲテ見マシテモ、例ヘバ檜炭ノ生産價格ハ一等級ニ於テ一圓八十三錢デアリマス、ソレガ小賣價格ニナツテ來マスト二圓六十一錢ニナリマス、此ノ差額ハ七十六錢ノ開キヲ持ツテ居リマス、此ノ間ニ於テドウ云フ風ニシテ消エテ行クカト云ヘバ、産業組合ノ手數料トシテ五

錢、卸業者ノ手數料トシテ九錢、小賣業者ノ荷扱手數料トシテ二十八錢、產地ヨリ「レール」マデノ運賃トシテ十五錢、此ノ產地ヨリ「レール」マデノ十五錢ト云フモノハ、是ガ現實ニ運送サレル場合ニハ洵ニ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、往々ニシテ製炭業者ノ庭先デ取引サレル場合デモ是ガ付イテ居ルト云フ場合ガアルノデアリマス、是ハ炭ノミナラズ繩、筵、吹等ノ製品、或ハモット申シマス、是ハ農商省ノ御所管デハナイカモ知レマセヌガ、最近夏季ニ於テ農家ニ於テハ馬糞トシテ乾草ノ供出ヲ求メラレテ居リマスガ、是ガ供出等ニ付キマシテモ農家ノ申ス所ハ、是ガ此ノ儘軍ニ納メラレテ、ソレガ本當ニ兵隊サンヲ乗セテ走ツテ呉レル馬ノ餌ニナツテ行クコト云フ所ニ於テ、我々トシテ感激シ、サウシテ此ノ忙シイ中ヲモ草ヲ刈ツテ乾シテ之ヲ供出スルガ、是ガ軍ニ納マルマデノ間ニ一遍一ツノ會社或ハ組合ト云フモノヲ通ルコトニ依ツテ、ソコニ相當ノ手數料ヲ例ネラレテ居ルト云フ所ニ、我々ノ赤心赤誠ガ何カソコニ曇ラサレルヤウナ感じガアルノデアリマス、斯様ナ風ニモ申シテ居ルノデアリマス、ソレハ當ニ農村地方等ノミナラズ、例ヘバ是モ或ハ御所管違ヒカモ知レマセヌガ、屑鐵ノ回收等ニシマシテモ同様ナコトガ、常ニ家庭ノ主婦達ニ依ツテ囁カレテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀況下ニナツテ參リマシテ、殊ニ戰局ハ愈々緊迫シテ來マシテ、會テノ統制會社或ハ統制組合ヲ御作リニナツタ時代トハ一段ト又緊迫シタモノガアル、而シテ此ノ統制會社ナリ統制組合ナリニ相當程度ノ自己ノ生活ノ犠牲ニサレテ參加サレタ人々ニ遙カニ増シテ、決シテ劣ラナイ所ノ犠

牲ヲ多ク拂ハレル面ガ今日ニ於テハ出テ來テ居ルノデアリマス、斯様ナ段階ニマデ來マシタ時ニ於テハ、モウ少シク此ノ統制會社ナリ統制組合ナリノ手數料ニ付テ、何等カ御勘案ニナツテ再檢討ヲ御與ヘ下サル必要ハナイカ、或ハ若シ此ノ方面ニ再檢討ヲ加ヘルコトガ出來ナイトスレバ、色々ナ生産サレル物ソレ自體ノ方ノ値段ニ於テ、何等カ勘案サレルノ必要ハナイカ、最モ願ハシイコトハ、斯ウシタ統制會社ナリ統制組合ナリト云フモノガ、總テ官業的ナ傾向ヲ以テ一般民衆カラ見ラレテ居ル、統制會社ナリ統制組合ノ人々ヲ決シテ民間ノ人トハ思ハナイ、是ハ官吏ダト皆考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ誤ツタ考ヘ方デアリマスガ、其ノ位地方ノ人々ハ其ノ所ヲ分析シテ居ラナイ、殊ニ此ノ統制會社ナリ統制組合ナリノ人々ガ、會テ商人トシテ、一會社員トシテノ生活ヲシテ居ツタ場合ニハ洵ニ鄭重ナモノデアリ、親切ナモノデアリ、寧ロ親切ガ過ギテ氣持ガ惡イ場合ガアツタノデアリマスガ、一タビ統制會社、統制組合ト云フヤウナ形ニナツテ其處ニ御勤メヲナサルヤウニナルト是ハ何ト申シマスカ、警察署ノ受付ニデモ立ツヤウナ形ニオナリニナルノデアリマス、ソコニドウシテモ否應ナシニ、一般民衆ト云フモノハ此ノ統制會社ナリ、統制組合ナリト云フモノヲ官ノモノト云フヤウナ誤認ヲ致スニ至ツテ居ルノデアリマス、此ノコトハ政府ノ爲ニモ、又同時ニ一般民衆ノ爲ニモ深ク考慮セラレナケレバナラス問題ダト思フノデアリマスガ、最早此ノ所謂各會社ノ「トシネル」稅ト云フモノニ向ツテ、再檢討ヲ加ヘラルベキ時期ガ來テ居リハセヌカト思フノデアリマス、

其ノ邊ニ付テ御意向ノ程ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○重政政府委員 第一點ノ御質問ハ、統制會社及ビ其ノ他統制機構ノ手數料ニ付テ檢討ヲ加ヘル必要ガナイカト云フ御質問デアリマス、實ハ其ノ點ハ私共最モ注意ヲ致シテ具體的ニヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、生産者ノ面及ビ屑物等ニ付キマシテハ、一般ノ消費者ガ之ヲ出ス譯デアリマシテ、サウ云フモノガ色々統制會社ノ手數料ニ付テ云々セラレル譯デアリマスガ、是ハ私ハ一概ニソレガ誤ツテ居ルトモ申シマセヌ、中ニハ御指摘ノヤウナモノモアルガラウト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテハ誤解ニ基イタ部分ガ多イノデアリマシテ、公定價格制度ヲ政府ガ實行致シマシテ以來、小賣業者ノ手數料、卸業者ノ手數料、或ハ統制機關ノ手數料ト云フヤウナモノガ、公然ト世間ニ發表セラレルヤウニナツタノデアリマス、ソコデソレヲ見テ色々言ハレルノデアリマス、所ガ此ノ手數料ノ中ニハ、先程モ例ヲ以テ御述ベニナリマシタヤウニ、運賃モ入ツテ居レバ、目減リモ其ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマス、更ニ小運送ノ問題モ此ノ中ニ入ツテ居ル、公定價格ヲ設定致シマス關係上、或ル程度サウ云フヤウナモノハ「ブル」的ナ計算ヲ致サナケレバ公定價格ノ設定ガ出來ナイト云フヤウナ事情カラ致シマシテ、此ノ手數料ヲ幾ラノト決メテ居ル譯デアリマス、ソレハ非常ニ近イ所デ持ツテ行ク、ソレハ運賃ハ殆ド掛ラス、然ルニ十何錢ノ運賃ヲ取ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ言ハレバ、ソレハサウ云フモノモナケレバ全體トシテハ三倍、四倍ノ運賃ヲ拂フ所カラ物ヲ集メル場合モアル譯デアリ

マスカラ、サウ云フモノノ共同的ニ計算致シマシテ公定價格ヲ設定シテアル關係上、具體的ナ、局部的ナ一ツノ事情ヲ以テ、是下對照セラレテ色々ハレル向ガ一面ニハアルヤウニ私共思フノデアリマス、是ハ能ク具體的ナモノニ付テ内容ヲ御説明致シマス、ソレデ御諒承ヲ得ル場合モ多々アル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關係モアリ、一面ハ是ガ公然ト公示セラレル、所ガ實際私共ガ公定價格ノ設定其ノ他ヲヤリマス際ニ、色々ナ手数料ヲ具體的ニ調ベテ居ルノデアリマスガ、私共ハ配給ノ手数料ト云フモノハ、總合計ニ於テ少クトモ從來ノ自由時代ニ於ケルヤウナ手数料ハ取ラサス、之ヲ壓縮スルト云フ方針ノ下ニヤツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、自由時代ニ於テハソレガ實ハ分ラヌ、生産者モ消費者モ分ラヌカラ、幾ラ取ラレテモ色々ナ不平ハナカツタ譯デアリマスガ、今日ニ於キマシテハソレガ從來ヨリ非常ニ減ツテ居ルニ拘ラズ、ソコガ表面ニ出ルノデ、ソレデ色々論議的ニナルト云フヤウナ面モアル譯デアリマス、一概ニ私ハ總テガサウダト云フコトヲ申ス譯デアリマセヌガ、サウ云フ部面モ多々アラウカト考ヘルノデアリマス、デアリマスノデ私共ハ努メテ具體的問題ニ付テ十分御事情ヲ承ツテ御説明ヲ申上ゲルト云フ方針デ、今マデヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、只今御述ベニナリマシタヤウナ御注意ニ付キマシテハ、私共全然同感デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ今後ニ於テモ十分注意ヲ致シテ參リタイト考ヘル次第デアリマス

ニハ誤解ニ基イタモノモ相當アラウカト存ジマス、即チ會テノ自由主義經濟時代ニ於テハ、生産者カラ消費者ノ手ニ渡ルマデニ、五ツモ六ツモノ色々ナ問屋筋ノ手ヲ經、小賣業者ノ手ヲ經テ、而モソレガ何處ヲドウ通ツテ行カ、其ノ道筋ヲ一々生産者ガ監視メテ居ツタ譯デハゴザイマセヌ、ソコデ勢ヒ自分ノ造ツタモノガ幾ラニ賣ラレテ居ルカ、其ノ間ニ於テドレダケ利鞘ガ刎ネラレテ居ルカト云フコトニ付テ、細カイ注意ヲ與ヘナカツタコトノ結果トシテ、其ノ消費者ニ渡ツタ時ノ値段ト、自分ノ生産シタ時ノ値段ニ付テ對比シテ不平ヲ抱キ、或ハ不満ヲ持ツト云フコトガナカツタノカモ知レマセヌ、サウ云フ御指摘ノ點モ確カニアリマセウ、併シナガラ一面ニ於キマシテ、今此處ニ一例トシテ申上ゲルヤウナ炭ノ場合等ニ於テモ、例ヘバソレガ自由主義ノ華ヤカナル時代デアツテモ、一圓八十錢トカ、一圓九十錢トカ云フ僅カ二圓以下ノ金額ニ於テ、ソレガ生産者ト小賣價格トノ間ニ於テ、七十錢モ八十錢モノ開キヲ持ツト云フヤウナコトハ、餘リ多ク例ヲ見ナカツタノデアリマス、其ノ他今具體的ナ例ヲ擧ゲルナラバ、幾多直スベキ點ニ付テハ直サウト云フ、洵ニ好キ御心持ヲ以テノ御答ヘガアリマシタノデ、私共トシテハ改メテ又其ノ具體的ナル問題ハ取上ゲテ申上ゲルコトニ致シマスガ、更ニ一面誤解ニ基イテサウシテ其處ニ徒ラナル不滿、或ハ不平ト云フヤウナモノノ存在スルコトニ付テハ、是ハ事實上ニ於デアリ得ルモノデアリ、又アルモノトスルナラバ、當局ニ於カレテハ、今ノ段階トナリマスレバ、此ノ誤解ニ基イテ出發シテ居ル所ノモノノ誤解ヲ御解キ下サルダケノ御努力ガ必要デハ

ナイイカト思ヒマス、ト申シマスノハ、左様ナコトヲ一々シテ居ツタノデハ、到底當局トシテノ仕事ノ本來ノ運營ガ付カナイト云フ御氣持ガ必ズ湧クデアリマセウガ、併シ今日ノ此ノ段階ニ來テ、今私ガ指摘致シマシタヤウナ意味合ニ於テ、何トナク生産ヲ澁ツテ居ルト云フ面ガ、相當大キナ量ニナツテ來テ居ルト思ヒマス、ソコニ於テ願クハ、ソレノ係リガ居ラレルノデアリマスカラ、係リカラ係リヘズツト末端ニ至ツテ、只今アナタガ御指摘下サイマシタ「プール」計算ナリ何ナリ、斯クノ如キ利潤ガ決マツテ來、手数料ノ決マツテ來ル經緯ヲ吞込マセテ、サウシテ其ノ末端ノ業者ナリ、生産者ニ向ツテ之ヲ解説出來ルヤウニ御仕向ケ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレニ依ツテ多分ニ誤解ガ解カレ、サウシテ其ノ誤解ガ解カレコトニ依ツテ、生々澁刺タル生産ガ出來テ來ルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ現ニ此ノ木炭ノ事實ヲ私ニ示シテ呉レマシタ人、其ノ中ノ一人ニハ、此ノ地方ノ木炭製造ノ爲ノ指導員ガ入ツテ居ル、其ノ指導員ガ斯クノ如キ事實デスト云ツテ懇ヘルノデアリマス、然ラバ何故ニ是ガ斯ウ云フ風ニ決マツタカト云フコトニ付テハ、指導員モ何等説明モナケレバ、知ラナイノデアリマス、若シモ産業組合ニ於テ五錢取ルコトノ當然性、卸賣業者ノ扱ヒノ手数料トシテ九錢取ルコトノ當然性、或ハ小賣業者ノ扱ヒ手数料トシテ二十八錢剋ネルコトノ當然性ト云フヤウナモノガ、ハツキリト其ノ製炭指導員ノ人ニ吞込マレテ居ツテ、其ノ人ガ説イテ行クナラバ、實ニ手間暇要ラズニ斯ウシタコトノ不滿モ解消シテ、朗カニソコニ御國ノ爲ダト云フノデ、炭モ燒カレ、

或ハ馬鈴薯ノ切干モ出來、或ハ馬糧トシテノ乾草モ出來ルト云フコトニナツテ來ルデアリマセウシ、又是ハ御所管ガ違ヒマセウガ、都會トシテハ屑鐵ノ回收等ニ於テモ、非常ニ朗カナ風景ガ出テ來ルグラウ、斯様ニ存ズルノデアリマス、ドウカ是等ノ點ニモ御考ヘ置キ下サイマシテ、是ガ單ナル詰ラナイコトダト云フ御氣持デナシニ、是ガ相當色々ナ生産ノ上ニ大キナ障礙ニナツテ居ル事實ヲ御認メ下サラシコトヲ御願ヒ申上ゲテ已マナイノデアリマス

○重政政府委員 只今御述ベニナリマシタコト、洵ニ御尤モデアリマス、將來ニ於テモ出來ルダケ其ノ誤解ハ解クヤウニヤツテ參リタイト考ヘマス、ソレカラ又話ヲ致スト成程ト分ツテモ、中々サウ腑ニ落ちナイ場合ガアル譯デアリマス、是ハ私共ガ幾ラ説明シテモ、其ノ時ハ成程ト分ツテ居ツテモ、直キニ又サウデナク考ヘルト云フコトガアツテ、是ハ本當ニ分ラヌ、生産者トシテハ色々ナ人ガ居ラレル譯デアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ出來ルダケ全國「プール」ノ計算ヲヤルトカ、何トカ云フコトハ止メニシテ、消費價格ヲ高ク賣ル時ハ生産者ノ價格ヲ高クスル、或ル品物ヲ一本ノ價格デスルト云フコトデナシニ、生産者ノ勘定ヲ基準ニシテ、考ヘテ行クト云フ風ニ致シマシテ、物ニ依リマシテハ漸次根本的ニ考ヘテ直シテ行ツテ居ルモノモアル譯デアリマス、洵ニ是ハ御指摘ノ通りニ大切ナコトデアリマスノデ、將來ニ於キマシテモ一層此ノ方面ニ努力ヲ致シタイト考ヘマス

○中村委員長 田村稔君、通貨ト公債ノ問題ニ付テハ、先日田中藤作君、本領信治郎君カラ御質疑ガアツタヤウニ思ヒマスカラ、

出來ルダケ重複ノナイヤウナ意味ニ於テ御願ヒ致シマス

○田村(稔)委員 私理財局長ニ簡單ニ通貨ト公債ノ關係、詰リ公債ガ通貨ノ代用作用ヲ營シテ來タ時ニ起リ得ベキ惡性「インフレーション」ノ問題ニ付テ御聽キシタイト思ヒマス、申スマデモナク、公債ハ多分ニ通貨類似性ヲ持つテ居ルト思フノデアリマス、又通貨ノ代用性ヲ含シテ居ルト思フノデアリマス、詰リ公債ガ通貨ノ代用ヲナスト云フコトハ、公債ニ對スル國民ノ信賴感ガ強ケレバ強イ程ソレガ行ハレ、又弱クナレバ弱クナル程ソレガ行ハレテ來ルト思フノデアリマス、現在ニ於テモ大キイ取引等ニ於テ、公債ニ依ツテ其ノ支拂ガナサレテ居ル事實ヲ往々ニシテ見ルノデアリマス、企業整備其ノ他ノ關係ニ於テ資金ガ凍結サレテ居リマスケレドモ、併シナガラ此ノ公債自體ガ通貨ノ代用作用ヲナシタ時ニハ、非常ニ大キキ購買力ヲ持つテ來ルト思ヒマス、例ヘバ今七十億ノ通貨ガ出テ居ルト致シマシテ、假ニ是ガ全部十圓札ダトシテ、年百回運轉スルト致シマスレバ、七千億圓ノ購買力ヲ持つ、購買力ヲ持つノデアリマセス、七千億圓ノ品物ガ事實買サレルノデアリマス、今日内國債ガ約七百億出テ居ルト致シマシテ、是ガ通貨ノ代用性ヲ帶ビテ來テ、ドシノ之ニ依ツテ賣買代金其ノ他ノ代金ガ支拂ハレルトナレバ、急激ニ惡性「インフレーション」ノ傾向ガ擡頭シテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ、政府ハ如何ナル方針ヲ以テ臨マルヤ、大變ナコトニナルト思ヒマス、實際今ニ於テモ相當公債ガ通貨代用ヲナシテ取引ガ行ハレテ居ル事實ヲ耳ニスルノデアリマス、此ノ

點ダケ御聽キシタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 公債ガ通貨ノ代用トシテ色々ナ決濟手段ニ使ハレルト云フコトニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ斯ウ云フ現象ヲ耳ニシテ居リマスガ、ソシテヒドク廣範圍ニ行ハレテ居ルモノトハ考ヘテ居リマセス、一部保險料ノ支拂デアルトカ、其ノ他或ハ現金拂フ公債ヲ以テスルト云ツタヤウナ事例ハ承知シテ居リマス、其ノ他ニモ尙サウ云フ事例ガアラウト思ヒマスガ、要スルニ公債ヲ通貨ノ代用ニスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ御話ノ如ク色々ナ危險ナ面モアル譯デアリマス、サウ云フコトハ出來ル限リ——出來ル限リデアリマセス、絕對ニ禁止致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シナガラ法律的ニ之ヲ禁止スルトカトカ何トカ云フ處置ハ目下執ツテハ居リマセスガ、地方長官ニ對スル通牒其ノ他デ、公債ヲ以テ通貨代用ニ致ス行爲ニ付キマシテ、取締ヲシテ貰フト云フヤウナ方針ヲ執ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、御話ノヤウニ公債ガ通貨ニ代ルト云フト約七億アル譯デアリマスカラ、素晴シイ購買力ヲ醸成致ス譯デアリマスカ、是ハ餘談ニナリマスガ、公債ノ中デモ大部分、約八割六分ト云フモノハ登錄公債ニナツテ居リマシテ、一般市場ニハ流通致シテ居リマセス、併シナガラソレニ致シマシテモ公債ガ通貨ト同様ニ使ハレルト云フコトニ付キマデハ、相當ノ數額ニ上ル譯デアリマシテ、大イニ戒心ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田村(稔)委員 先刻モ申シマシタ通り、此ノ公債ニ對スル國民ノ信賴感ガ強イ間ハ大丈夫ダ、併シナガラ公債ニ對スル信用ガ薄クナツタ場合ニハ急激ニ此ノ行爲ガ殖エ

テ來ルト思フノデアリマス、其ノ時ガ即チ財政經濟ノ破綻ヲ生ズル時デアツテ、斯ウ云フ時代ガ來ナイコトヲ念願スルモノデアリマスケレドモ、或ハ來ル場合ガアルト云フコトモ假定ニ入レテ、十分其ノ邊ニ付テ御善處サレンコトヲ、強キ意味ニ於テ要望致ス次第デアリマス

○中村委員 西川君、内務省ノ竹内管理局長、ソレカラ朝鮮總督府、臺灣總督府ノ政府委員ガオ見エニナツテ居リマスカラ、其ノ方面ノ御質疑ヲ願ヒマス

○西川委員 一寸御斷リシテ置キマスガ、朝鮮總督府ニ關係シマシテ昭和十八年法律第九十三號ノ改正ノ點ニ付テ、特ニ食糧關係ノコトニ付テ御尋ネスル點ガゴザイマスガ、是ハ農商大臣ガ御出席ノ際ニ大臣ノ居ラレル所デ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、

隨テ他ノ質問ノ途中デモ、農商大臣ノ出席ガアリマシタ際ニハ、質問ヲ打切りマシテ其ノ質問ニ移リマスノデ、關係政府委員ノ方ハ御迷惑デアリマセウガ、左様ニ御諒承ヲ願ツテ置キマス、先ヅ臺灣ノ方カラ御尋ネ致シマセウ、臺灣總督府トシテ此ノ法律ノ改正ニ依ツテ公債ノ増發ヲ御要求ニナリマシタ、其ノ特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人トハ何ヲ指スノデアリマスカ、ソレ等ノ事業ノ内容等ヲ極メテ簡單ニ御答へ願ヒタイト思ヒマス

○高橋政府委員 御答へ申上ゲマス、此ノ特別ノ法令ニ依リ設立スル法人ト申シマスノハ二ツアリマシテ、一ツハ臺灣重要物資營團デゴザイマス、此ノ營團ハ前ノ八十三議會ニ於キマシテ、既ニ議會ノ協賛ヲ經マシテ三百萬圓ノ政府出資ヲ致シ、現ニ設立ニ係ルモノデアリマス、大體内地ノ産業設

備營團、國民更生金庫、竝ニ交易營團ノ仕事ヲ臺灣ニ於テ擔當スル營團デアリマス、第二ノ法人ハ臺灣石炭統制會社ト云フモノヲ今後設立シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ニ對シテ資本金ノ總額一千萬圓ヲ豫定シテ居リマスガ、其ノ中半額ノ五百萬圓ダケヲ交付公債ニ依リマシテ政府出資致シタイト思ツテ居リマス、石炭統制會社ハ大體臺灣ニ於ケル石炭鑛區ノ整理統合等、所謂石炭業ニ於ケル企業整備ヲ擔當セシメマスト共ニ、生産配給各方面ニ互ツテ一手ニ引受ケル所ノ會社ニシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 現在内地ニ於キマシテ戰力増強ノ目的ノ不ニ企業整備ガ行ハレテ居リマサヤウニ、臺灣ニ於ケレマシテモ同一目標ニ依ツテ歩調ヲ合ハセデ、サウ云フ風ナ御施設ヲ御ヤリニナリツ、アルコト、存ズルノデアリマス、隨テ此ノ趣旨ハサウ云フヤナ仕事ニ關係ヲウツテ行クモノト思フノデアリマスガ、大體臺灣ニ於ケル企業整備ノ手段、目標、其ノ狀況、尙是カラドノ位ナモノヲ生ミ出シテ、例ヘバ古鐵其ノ他資材ノ轉用等ニ付テ、又勞力等ニ付テドノ位ノ目標ヲ以テ行ハレツ、アルノデアリマスカ、其ノ點ヲ御説明願ヒタイ

○高橋政府委員 臺灣ニ於ケル企業整備ハ内地ヨリ非常ニ遅レマシテ、漸ク前議會ニ於テ出資ノ御協賛ヲ經マスト共ニ、第二豫備金支出等ニ依リマシテ漸次實行ニ移シテ居ル次第デアリマス、臺灣ハ御承知ノ通り工業ノ發達ノ程度ガ内地ニ比較致シマシテ非常ニ遅レテ居ル實情デアリマスノデ、企業整備ト申シマシテモ、其ノ中心ハ自然中小商工業ニ分レテ居ルコトニナツテ居リマス、

ソレデ只今日目標ニシテ居リマス所ノ整備ノ數ハ、工業關係ニ於キマシテハ、工場數ガ大體臺灣ニハアリマス、其ノ中程度ヲ整備致シマシテ、餘ヲ殘シテソレヲ培養シテ行クト云フ考ヘデアリマス、ソレカラ商業ノ部面ニ於キマシテハ、現在商業者ノ數ガ、是ハ最近ノ調べガナイノデアリマスガ、大體程度アルモノト考ヘテ居リマス、其ノ中整理致シマス店主ノ數ハ大體、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ是等ノ中小商工業者ヲ整理致スコトニ依ツテ生ジマス所ノ勞務者ノ數ハ、大體ト云フ風ニ承知シテ居リマス、其ノ一ダケ十八年度ニ於テ實行シ、後ノ一ハ十九年度ニ於テ全部整理ヲ終リタイト考ヘテ居リマス

○西川委員 尙一點御尋ネ致シマスガ、臺灣ニ於キマシテモ内地ニ於ケル水産業ノ統制ニ做ヒマシテ、水産業統制會社ガ設立サレタヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シマシテハ總督府ニ於テ相當ノ出資ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、又出資ヲスレバドウ云フ財源ニ依ツテ、ドウ云フ形式ニ依ツテサレタノデアルカ伺ヒタイ

○高橋政府委員 水産業ニ關シマシテハ、一昨年總動員法ニ基キマシテ臺灣水産統制令ト云フ勅令ヲ交付致シマシテ、之ニ基イテ南日本漁業統制株式會社ト云フ會社ヲ作ツテ居リマス、之ニ對シテハ政府カラ出資スル豫定ハ全然ゴザイマセス、大體業者ヲ全部纏メマシテ、ソレヲ一ツノ會社ニシテ行ク方針デアリマス

○西川委員 外地ノ臺灣、朝鮮等ノ事情ニ付キマシテハ、我々内地ニ於ケル如ク十分ニ行届イタ調査等ヲナシ得ナイ憾ミヲ持ツ

ノデアリマスガ、臺灣ノ水産業ノ統制等ニ於キマシテモ、現在其ノ統制ノ對象トナル漁業ノ實際ニナシ得ル船舶ハ、徵用等ノ關係デ極メテ少イ、僅カニ二隻カ三隻、モットアルカモ知レマセヌガ、極メテ僅カノヤウニ聞イテ居リマス、然レニ相當龐大ナル資本金、龐大ナル機構ヲ以テ統制會社ガ出來テ、統制ノ爲メ統制ニ終ルヤウナ結果ニナツテ居ルト云フコトヲモ聽イテ居ルノデアリマス、其ノ他ハ臺灣ニ參上致シマシテ詳細ニ實情調査ノ上、更ニ御尋ネスルヤウナ點モアルト思フノデアリマスガ、内地デ斯ウ云フヤウナ統制ヲシタカラ、臺灣デモ朝鮮デモヤウナクテハナラヌト云フヤウナ感

ジデ、實際ニ必要ノナイ統制ヲ行フト云フヤウナコトハ、嚴ニ戒メラレル必要ガアルト思フノデアリマス、水産ノ統制ノコトニ付テハ相當極端ナ話モ承ツテ居ルノデアリマスガ、若シサウ云フ誤解ヲ解ク材料ヲ御持チデゴザイマスナラ、此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス

○高橋政府委員 水産業ニ關シマシテハ完全ナ資料ヲ持合ハセマセヌガ、大體私ノ承ツテ居リマス所ダケヲ申上ゲマス、内地モ同様ダラウト思ヒマスケレドモ、臺灣デハ重油其ノ他船舶ノ不足ノ爲ニ、最近非常ニ漁獲高ガ減ツテ參ツテ居リマス、併シナガラ内地ト非常ニ事情ノ違ツテ居ル點ハ、臺灣ノ漁業ハ殆ド全部遠洋漁業デアリマシテ、沿岸漁業ハ全く未發達ノ狀態デアリマス、隨テ重油ノ配給ニシテモ、又徵用サレテ殘ツタ船舶ノ運用ニシテモ、之ヲ一手ニ

統制シテ效率ヲ擧ゲルト云フコトハ、内地、朝鮮ノ事情ハ能ク存ジマセヌガ、恐ラクハ他ノ地域ヨリモ遙カニ重要ナ問題ニナ

ツテ居ル、サウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、只今モ二隻カ三隻ト云フ御話ガアリマシタガ、斯ウ云フヤウナコトハ絶對ナイノデアリマス、會社ノ中心ニナツテ居リマスノハ、日本水産會社ノ臺灣ニ於ケル事業、竝ニ林兼ノ事業ト兩方ガ大體中心ニナツテ居リマス、其ノ他臺灣ニ於ケル漁業移民トシテ内地人ノ移民ガ臺灣ニ相當數落着イテ居リマスガ、是等ノ持ツテ居ル船舶等ヲ全部統制シテ、サウシテ修繕ノ統制、竝ニ殘ツタ船舶ノ能率ヲ最高度ニ上ゲサセルト云フ方向ニ向ヒマシテ、目下漁獲高ノ幾分デモ多カラヌコトニ努メテ居ル次第デアリマス

○西川委員 臺灣ノ問題ニ付キマシテハ我々審議ヲ致シマス上ニ、ドウシテモ隔靴搔痒ノ感ヲ免レナイノデアリマスガ、併シナガラ我々ハ兎モ角モサウ云フ御説明ニ依ツテ此ノ法律案ニ對スル協賛ハ致シタイト考ヘルノデアリマス、併シナガラ臺灣總督府當局ニ於ケレマシテハ、我々議員ノ是カラノ審議ノ不便ニ鑑ミテ、資料等ハモウ少シ親切ニ御出シシナランコトヲ希望致シマス、唯法律案ノ出シ放シデ、臺灣總督府カラ何等ノモノヲ戴イテ居リマセヌ、内地ニ居リマシテ臺灣ノ問題ヲ審議シナクテハナラヌ議員ノ立場ヲモウ少シ御考ヘ下サイマシテ、審議ノ資料等ニ付テモウ少シ親切ナル御取計ヒヲシテ下サルコトヲ希望致シマス

次ニ朝鮮ノ問題ニ付テ御尋ネ致シマス、此ノ法律ニ於キマシテ朝鮮ノ交通ノ整備ニ付テ色々御要求ニ相成ツテ居ルヤウデゴザイマスガ、今日時局ノ要請ニ基キマシテ、朝鮮ノ交通問題ニ付テ國家的ナ最モ大ナル關心ヲ持タナクテハナラヌノハ、内地、朝鮮

ノ連絡ヲ一層強力化シ、輸送力ヲ増大スルコトデアルト考ヘルノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、北鮮ノ襄陽カラ浦項ニ通ズル鐵道、是カラ蔚山港ニ連絡ヲ致シマスル北鮮ノ大動脈トモナルベキ此ノ鐵道ハ何年ニ於テ完成ノ豫定デゴザイマスカ

○水田政府委員 御示シノ襄陽、浦項間ノ東海岸線、是ハ當初ハ昭和十九年度ニ完了スル目的ヲ以テ進ンデ居リマシタガ、資材其ノ他ノ關係ニ依リマシテ尙一兩年延期スルコトニナラウカト思ヒマス

○西川委員 此ノ鐵道ハ内地、朝鮮ノ連絡ヲ強化スル意味ニ於キマシテ相當重要ナ路線ダト思ヒマスガ、今少シ御奮發ニナツテ、早期ニ完成ヲサレル譯ニイカナイモノデアリマセウカ、又此ノ鐵道ニ完成後ノ於テ、内地、朝鮮間ニ於ケル連絡ノ施設ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ラレカ、又其ノ考ヘノ下ニドウ云フ御用意ガ進ンデ居リマスガ、其ノ點ヲ承リタイノデアリマス、今日、内地、朝鮮ノ連絡ニ關シマシテハ、釜山・下關間竝ニ釜山・福岡間ニ於ケル連絡ガ行ハレツ、アリマスケレドモ、尙之ヲ以テ十分トハ考ヘラレマセヌ、或ハ南ノ方ハ麗水カラ下關等ニ、又蔚山カラ豫テ朝鮮總督府ニ於テモ御關心ヲ持ツテ居ラレマスル油谷灣等ニ於ケル連絡モ、此ノ日滿ヲ一體トスル國防計畫ノ確立ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、極メテ急速ニ施設サレナクテハナラヌコトデアルト考ヘルノデゴザイマスガ、ソレ等ニ付テハ、朝鮮總督府ニ於ケレテハドウ云フ方針ヲ以テ進ンデ居ラレマスカ

○水田政府委員 御示シノヤウニ、朝鮮ガ内地ト大陸トノ連絡ノ橋ト致シマシテ今日最モ重要ナ役割ヲ勤メナケレバナラヌ、又

最善ノ努力ヲシテ勤メテ居ル譯デアリマス
ルガ、現在最モ重點ヲ置イテ輸送力ノ増強
ニ努メテ居リマスルノハ釜山新義州間ノ複
線工事デアリマス、此ノ複線ガ完了致シマ
スルコトニ依リマシテ、大陸ト内地トノ間
ノ輸送力ノ増強ト云フコトニ相當役立ツ譯
デアリマス、唯御示シノヤウニ、東海岸線
ト云フモノモ大陸ト内地トノ間ノ連絡ト致
シマシテ決シテ重要デナ、斯ウ申ス譯デ
ハアリマセス、資材其ノ他ノ關係ガ計シマ
スルナラバ、朝鮮ト致シマシテハ一日モ速
カニ此ノ路線ノ完成ト云フコトハ希望致シ
テ居ル所デアリマス、内地トノ連絡ニ付キ
マシテハ、今日所謂大陸カラノ轉嫁貨物ト
云フモノノ吞吐ト致シマシテ釜山ノ増強ニ
非常ナル力ヲ注イデ居ル譯デアリマスル
ガ、ヤハリ御示シノヤウニ、釜山ダケデハ
尙十全ヲ期スル譯ニ參リマセスノデ、麗水
ニモ相當荷役能力ノ増強ニ付テ努力ヲ致シ
テ居リマス、尙鎮海ノ近クノ馬山モ一部活
用スコトモ考ヘテ居リマス、尙目下鐵道
建設中デアリマスガ、慶尙南道三千浦ノ港
ニ付テモ、内地トノ連絡ニ付テ考慮致シテ
居リマス、御話ノ蔚山デアリマスガ、是ハ
ヤハリ内地トノ連絡ト致シマシテハ、距離
ハ蔚山ト油谷ノ間ガ一番短イノデアリマ、
蔚山・油谷ノ連絡ト云フコトニ付テハ、總督
府ト致シマシテハ、ヤハリ將來内地トノ
連絡ノ港トシテ考慮致シテ居リマス、只今
ハ油谷ノ方ガドウ云フコトニ相成リマスガ、
此ノ蔚山ニ付キマシテハ港ノ築造ニ付テ一
部著手致シテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置
キマス

○西川委員 朝鮮ト内地間ノ連絡ノ問題ニ
關シマシテハ、私共ハ深刻ニ考ヘザルヲ得

ナイ事態ニ當面致シテ居ルノデアリマス、
即チ此ノ間ノ航路ヲ敵ニ依ツテ脅威サル、
ガ如キコトハ國民ノ憤懣ニ堪ヘザル所デア
リマス、特ニ衆議院ト致シマシテハ、曩ニ
翼賛政治會ノ公ノ使命ヲ帶ビテ、日滿一體
ノ食糧政策確立ノ爲メ旅行中ノ助川、加藤
兩先輩以下ノ犧牲ヲ見マシタルコトハ、
日滿一體ノ食糧確立ノ爲ニ、彼ノ地ニ使ヒ
ヲスルコトスラモ、或ル場合ニハ不可能デ
アルト云フ事實ヲ現實ニ見セ付ケラレタル
コトハ、内鮮連絡ノ現實ニ、一日モ晏如タ
リ得ナイ感ヲ懷カザルヲ得ナイ、此ノ現實
ノ事態ニ對シマシテハ、官民共ニ深刻ニ考
ヘナケレバナラスノデアリマス、然ラバ内
鮮間ニ於ケル連絡ヲ、絕對ニ斯様ナ脅威ノ
下ニ曝サナイ對策ハ海底「トンネル」ヲ打
クコトデアリマス、海底「トンネル」ハ、鐵
道ニ於ケルカレマシテモ既ニ關門間ニ於テ非
ナル成功ヲ收メラレテ居リマス、内務省ニ
於ケルカレマシテモ、關門間ニ於テ只今國道ノ隧
道ヲ掘鑿、近ク貫通ヲ見ントシテ居リマス、
海底「トンネル」ト申シマスハ我々ハ非常ニ
困難ナ事業ノヤウニ思フノデアリマス、ケレ
ドモ、併シナガラ炭礦其ノ他ノ鑛山ニ於テ
ハ、海底數十里ニ互リ坑道ヲ穿ツテ、其ノ中
ニ電車ヲ敷設シテ幾ラモヤツテ居ルノデア
リマス、今日ノ技術ヲ以テ致シマスレバ、内鮮
ヲ通ズル海底「トンネル」ヲ打抜クコトハ技
術的其ノ他ニ於テ決シテ困難デナイ、要ス
ルニ國民ノ熱意ト努力ニアルト思ハレル、
之ニ依リマシテ東京ヲ發シテ大陸ヲ橫斷シ、
昭南ヘ、「インド」ヘ直通ノ列車ガ走ルヤ
ウニナツテコソ、所謂大東亞ノ大動脈ガ確
立スルノデアリマス、而シテ斯カルコトハ
志ヲ遠大ニ持チマス共ニ、其ノ關係ノ衝

ニ當ル者ガ、異常ノ熱意ト熱心ヲ以テ其ノ
推進ニ當ラナカツタナラバ、完成ヲ見ルコ
トハ困難デアリマス、先年起リマシタ悲シ
ムベキ事實、我々ノ先輩ヲシテ悲憤ノ犧牲
ヲ拂ヒマシタ彼ノ遺難ニ關聯致シマシテ、
總督府當局ニ於ケルカレマシテモ感ナカルベカ
ラザル問題デアルト思フノデアリマスガ、
直接此ノ問題ハ朝鮮總督府ニ於テ御取扱ヒニ
ナル問題デアリニシマシテモ、關聯スルコ
トハ勿論デアリ、朝鮮總督府ノ大ナル熱意
ト、總督府官廳又半島同胞ノ非常ナル熱意
ナクシテハ完成シ能ハナイコトデゴザイマ
スガ、是等ニ對シマシテハドウ云フ御意向
ヲ持ツテ居ラレマスカ

○水田政府委員 只今御示シノコトハ御言

葉ニモアリマシタ通り、直接朝鮮總督府ノ
所掌致ス所デナク、又自ラ努メテソレガド
ウナルト云フ風ノ性質ノモノデモナイノデ
アリマスガ、御話ノヤウニ昨年ノ十月五日
ノ午前二時ニ、關釜連絡船ノ崑崙丸ガ敵潛
水艦ノ襲撃ニ依リマシテ沈没シマシテ、衆
議院ノ、而モ公ノ職務ヲ帶ビテ大陸ニ御渡
リニナラウトスル御二方ガ、職ニ殉ゼラレ
マシタコトニ付キマシハ洵ニ哀悼ノ至リニ
堪ヘマセス、此ノ機會ニ謹シテ私敬弔ノ
誠ヲ致シタイト存ズル者デアリマス、尙
其ノ機會ニヤハリ朝鮮總督府ノ我々同僚、
課長及ビ稅關長級ノ者二人モ殉職致シタヤ
ウナ次第デアリマシテ、此ノ問題ニ付キ
マシテハ、大陸ト内地トノ連絡ニ荷クモ關
心ヲ有シ、又直接其ノ衝ニ當ル者ト致シマ
シテハ、只今御示シノヤウニ「インド」ノ如キコ
トナカラント切ニ祈ル次第デアリマス、
關釜間ノ隧道ハ極メテ雄大ナル大構想デア
リマシテ、日本全體ノ事情トシマシテ、此

ノ實現開發ニ付テ計畫ヲセラレ著手サレ
コトハ、獨リハ朝鮮半島ノ問題デアリマ
セス、御示シノヤウニ日本ノ大陸ニ對スル
考ヘ方ト致シマシテ、朝鮮ニ於テモ斯クノ
如キコトニ付テハ、其ノ實現ニ付テ若シ出
來得ル協力ガアリマスナラバ、是ガ努力ヲ
拂フニ吝カデナイト云フコトヲ申上ゲル次
第デアリマス

○西川委員 次ニ企業整備ノコトニ付テ御
尋ネテ致シマス、今日我が國ニ於ケル戰力
増強ノ一番要點ハ勞力ノ問題ニアルコトハ
御承知ノ通りデアリマス、内地ニ於ケルマシ
テモアラン限リノ力ヲ振リ擡ツテ戰力ノ増
強ニ晝夜御奉公致シテ居ルノデゴザイマス、
之ニ對シテハ半島ノ同胞各位ハ、郷里ヲ遠
ク離レテ内地ノ凡ニ重要ナル産業ニ協力
ヲサレツ、アリマス、特ニ近年總督府
ニ於ケル御指導宜シキヲ得テ、半島同胞ノ
國家觀念、忠君愛國ノ觀念ガ大ニ昂揚サ
レマシテ、特ニ團體的ニ内地ニ參ル同胞達
ノ勤勞ノ狀況、其ノ思想態度ニ付テ著シク
頼モシイ事實ニ面接致シテ居ルコトハ、非
常ニ感謝ニ堪ヘナイ所デゴザイマシテ、此
ノコトハ此ノ際總督府當局ニ對シテ敬意ヲ
表シタイト存ジマス、然ルニ内地ニ於ケル
勞力ハ多々益、其ノ所要ヲ増加スルノデゴザ
イマス、朝鮮ニ於ケレテモ各般ノ國家的使
命ヲ御遂行ニナル上ニ、勞力必ズシモ上々
デハアリマス、漸次缺乏感ヲ感ゼラレ
ル狀態ニナツテ來テ居ルと思ヒマス、併シ
ナガラ尙時局ハ内地ニ於ケル産業ニ、半
島同胞ノ勞力ニ依ル協力ヲ求メテ已マナイ
モノガ非常ニ多イノデアリマス、左様ナ意
味ニ於ケルマシテ、一面ニハ企業整備等ニ於
テ更ニ勞務配置ノ轉換ヲ圖リ、特ニ朝鮮ノ

○西川委員 朝鮮ト内地間ノ連絡ノ問題ニ
關シマシテハ、私共ハ深刻ニ考ヘザルヲ得

志ヲ遠大ニ持チマス共ニ、其ノ關係ノ衝

農村ニ於ケル耕作能率ヲ大イニ増進シテ、農村ニ於ケル方面ノ優秀ナル勞力ヲ更ニ生ミ出シテ戴イテ、内地ニ於ケル産業ヲ援ケテ戴ク、尙サウ云フ勞務者ノ送出ニ對シテ相當ノ訓練ヲシテ戴ク、勿論是等ノ訓練ニ對シマシテハ、内地ニ於ケル官民共ニ深く御協力申上ル所ガナクテハナラヌト考ヘルノデアリマスガ、斯様ナ問題ニ關聯致シマシテ、企業整備ニ於テハドノ位ノ勞力ガ生ミ出サレル目標デゴザイマスガ、又農村方面ニ於ケル勞力事情、内地ノ要求ニ對シマシテ如何ナル御狀況デゴザイマスガ、將來ノ内地ニ對スル勤勞ノ給源トシマシテ、朝鮮ノ狀況ニ付テ總督府ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

スガ、尙朝鮮ニ於ケル仕事ノ進展ノ爲ニ、相當向フデモ人ガ要リマス、内地ニ入ツテ來ル者ニ對スル考ヘ方ニ付テ、御言葉ノヤウニ非常ニ御理解ノアル、御質問申シマスカ、御激勵ト申シマスカ、戴キマシタノハ實ニ珍シイノデアリマシテ、此ノ日本全體ノ代表デアル衆議院ノ席デ、今ノヤウナ御言葉ヲ戴キマスコトハ感激ニ堪ヘナイ所デアリマシテ、我々ト致シマシテハ、數年前マデハ朝鮮同胞ガ内地ニ行クノハ困ルト云フコトデ、其ノ間ニ非常ニ惱ミガアツタノデアリマスガ、コ、三四年來内地ノ勞働力ノ不足ノ爲ニ、出來ルダケ勞務者ヲ寄越シテ吳レルヤウニト云フ御要望デアツタノデアリマス、心配致シマシタノハ、コチラニ入ツテ參リマシテ、内地ノ方々ガ之ヲ能ク融和同化シテ戴イテ、本當ニ日本人トシテ、内地ニ於テ一體化セシムルヤウニシテ戴ケルカドウカ、此ノ點ガ我々率直ニ申シテ非常ニ心配ヲ致シテ居ル譯デアリマス、朝鮮ト致シマシテハ出來ルダケ内地ニ參リマシテ、弟分トシテ可愛ガラレルヤウニ——僻ミト云フヤウナコトガアツテハイケナイ、内地ノ方ニ於キマシテハ弟分トシテ大キナ目デ包攝シテヤルト云フコトデ、一ツヤツテ戴キタイ、朝鮮トシテハ出來ルダケ可愛ガラレルヤウニ——言語モ十分デナイ、風俗、習慣モ違ヒマス、内地ニ來テ愛撫セラレルヤウナ習癖ヲ付ケ心ノ眼モ開カセル、此ノコトニ非常ニ腐心致シテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ内地ニ送出ス勞働者ニ付キマシテハ、今モ御示ノヤウニ勞務訓練所等デ一應ノ訓練ヲ施シマシテ、十分デハアリマセスガ、内地ノ習俗ニ或ル程度副ビ得ルヤウナ素地ヲ拵ヘテ送出スコトニ努メテ居ル譯デアリ

マス、本年ノ暮カラ徴兵制ガ實施サレマスノデ、此ノ壯丁ノ數ハ相當ノ數ニ上リマスガ申上ルハ遠慮致シマス、此ノ御召ニ預カル前ノ準備ト致シマシテ、一箇年間所謂壯丁ノ豫備訓練ト云フコトヲ致シマシテ、昭和十七年ノ十二月カラ實行致シテ居リマス、其ノ中ノ或ル部分ガ現實ノ兵士トシテ御召ニ預カル譯デアリマス、其ノ他ノ者ハ豫備ニナリ或ハ第二國民兵ト云フコトデ殘ルコトニナル譯デアリマスガ、此ノ將兵ニ對スル豫備訓練ト云フモノハ、即徴兵ノ爲ノ訓練ト同時ニ、皇國勤勞觀ヲ養ハセルト云フコトヲ内容トシテ、今訓練ヲ致シテ居リマス、是等ガ段々出テ參リマスナラバ、所謂勞務者トシテ現在ヨリモ聊カデモ能率良ク、又團體ノ行動ヲナスニ付テモ、若干進ンデ來ルコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、訓練ノ點ハサウ云フヤウニ配意ヲ致シテ居リマスガ、今モ御示シノヤウニ、朝鮮自體ト致シマシテ鐵、石炭、輕金屬、隨分時局ノ要請ニ應ジテ勞働者ヲ急激ニ必要ト致シテ居ルノデアリマス、而モ其ノ方面ハ朝鮮及ビ北鮮地方デアリマスノデ、勞務給源地ハ主トシテ中部ヨリ以南ノ農業地帯デアリマス、朝鮮自體トシテモ勞務者ヲ必要トスル事情ハ益ニカラ加ハツテ來ル譯デアリマス、併シナガラ内地ニ於キマシテノ勞務ノ需要ト云フコトモ、非常ニ緊迫シタ狀態ニアリマスノデ、彼は朝鮮内ノ事情トモ睨ミ合セマシテ、事情ノ許ス限り只今申上デマシテ通り訓練ヲ致シマシタ者ヲ而モ内地ニ來テ可愛ガラレルヤウナ習癖ヲ付ケルト云フコトヲ主眼ニシテ訓練致シマシタ者ヲ送出シマシテ、内地ノ方ノ勞務ノ需要ニ應ズルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル

次第デアリマス
○西川委員 内地ニ參リマスル勤勞者ノ訓練指導ニ付テ色々御苦心ノ程ヲ承リマシテ、更ニ感ヲ深クスルノデアリマスガ、今後ニ於キマスル我が國ノ重要産業、特ニ戰力ノ増強ノ基礎トナリマス地下資源ノ開發等ニ於キマシテハ、全ク半島同胞ノ協力ノ如何ガ、此ノ増強ノ目標ヲ達成シ得ルカ否カノ成否ヲ決スル、即チ此ノ戰爭ノ完遂ノ上ニ至大ナル影響ヲ持ツコトハ申スマデモナイノデアリマス、半面半島同胞ノ色々ナ經濟生活ノ面ニ於キマシテ、内地ニ於キマスル色々ノ經濟生活、社會生活ノ面ガ立派ニヤツテ行ケルカドウカト云フコトハ、實ハ内地ニ於ケル戰時經濟ノ秩序ノ維持ニ至大ナル關係ヲ持ツノデアリマス、半島同胞ノ過去ノ事實實情ヲ考ヘマスル時ニ、最近ニ於ケル其ノ狀況ニハ非常ナル向上進步ガアルコト、前申上ガタ通りデアリシテ、其ノ點ハ非常ニ我々モ敬意ヲ表シテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ尙内地ニ於ケル産業ノ能率ヲ十分ニ發揮シ、戰時經濟ノ秩序ヲ維持シテ行キマスル上ニハ、半島同胞ノ生活態度其ノ他ニ付テ、尙大イニ求メル所大ナルモノガアルコトハ之ヲ否定シ得ナイノデアリマス、是ガウマク行クカドウカト云フコトハ、實ニ國家ノ運命ニ至大ナル影響ヲ持ツト思ヒマスノデ、此ノ事タルヤ朝鮮ニ於キマシテモ内地ニ於キマシテモ、官ト云ハズ、民ト云ハズ、大ナル關心ヲ持ツテ、虚心坦懷ニ能ク御話ヲ遂ゲマシテ、協力ヲシテ行カクテハナラヌト思フノデゴザイマス、朝鮮總督府ニ於カレマシテ色々御苦心ヲ戴イテ居ルト思フ

○水田政府委員

朝鮮ニ於キマスル企業ノ整備ハ、先程臺灣ノ政府委員ヨリモ御述ベニナリマシタヤウニ、内地ト稍、趣キヲ異ニ致シテ居リマシテ、所謂朝鮮ニ於キマシテハ中小商工業者ヲ企業整備トシテ一般的ニ整備スルト云フ域ニ參ツテ居リマセス、或ハ酒造業デアリマスガ、其ノ他二三ノ特殊ナル營業ニ付キマシテ、資材並ニ原料ノ配給上、ドウシテモ整理シナケレバナラス

ト云フ、特殊ノモノニ付テノ整備ト云フコトニ相成ツテ居リマス、所謂中小商工業者ノ數ト申シマスノハ、尙朝鮮ガ内地ヨリ相當遅レテ、所謂農業國ヲ漸ク脱シマシテ、コ、數年前農工併進ト云フコトデ進ンデ居リマス關係上、勞務給源ヲ中小商工業ノ整備ニ依ツテ出スト云フコトニハ相成ツテ居ラス

ノデアリマシテ、朝鮮ニ於ケル勞務給源ガ、專ラト申シテ差支ヘアリマセスガ、農村ノ人口ニアルノデアリマス、只今ノ御言葉ノヤウニ、朝鮮ノ勞務者モ内地ニ來テ働キマ

ノデアリマスガ、内地デ勤勞者ヲ使ツテ居リマス方面デ、最近我々ガ斯ウ云フ行キ方ハ非常ニ注目スベキデアルト云フ風ニ感じテ居リマスノハ、内地カラ勤勞者ノ募集ニ向フニ出テ行キマシテ、向フデ何日間カ其ノ應募者ヲ訓練スル、此方カラ募集ニ行キマシタ者ガ先生ニナツテ内地語ナドヲ教ヘル、サウシテソレヲ連レテ歸ツテ來テ、又一緒ニ同ジ寄宿舎デ數箇月間生活ヲシテ、サウシテ其ノ人ガ又坑内ヘ連レテ入ツテ、其ノ責任者トナツテ一緒ニ働クト云フヤウナヤリ方ヲシテ居ル者ガ九州ノ炭坑等ニハアルノデアリマス、サウ云フヤリ方ヲシテ居リマスノハ非常ニ良イ成績ヲ擧ゲテ居リマス、私ハ將來半島ノ勤勞者諸君ヲ管理指導ヲ致シマスル上ニハ、皆サウ云フ風ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、是等ハ固ヨリ受入レノ方ノ非常ナ努力ト熱意ヲ必要トスルト共ニ、ヤハリ總督府ニ於カレマシテモ、十分ニ御理解ヲ持タレテ之ニ御協力ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、政府ハ半島勤勞者ノ活動シテ居リマス内地ノ鑛山トカ、工場等ヲ親シク御覽ヲ願ツタコトハ勿論、アルダラウト思ヒマスガ、御往復ノ都度、成ベク日時ヲ割イテ、サウ云フ所ヲ現實ニ御覽ニナツテ、朝鮮總督府ノ行政上ノ立場カラ、内地ニ於テハ斯ウ云フ施設ヲシテ貰ヒタイ、或ハ其ノ指導管理ニ付テハ斯ウ云フヤウナ方法ヲ講ジテ貰ヒタイト云フヤウナ御注文ヲ色々承リタイノデアリマス、私共ハ此ノ席上デモ承リタイト思ヒマス、委員ガ御覽ニナリマシテ御感じニナツテ居ル點ガゴザイマスレバ、率直ニ此ノ機會ニ御披露ヲ願ヘレバ幸ヒデアルト思ヒマス

○水田政府委員 内地ニ於ケル半島勤勞者ノ態度ト申シマスルカ、ソレ等ニ付テハ尙將來御互ヒニ研究モシ、是正改善ヲ要スル事柄モアル、極メテ圓滑ニ御述べニナツタト受取ルノデアリマスガ、現總督署任ニナリマシテ、半島同胞ガ眞ニ日本帝國臣民トシテ國家ニ盡シテ行クト云フ此ノ心ヲ、肚ノ底カラ振ヒ起タシメル爲ニハ、ドウシテモ日本ノ國體ト云フモノガ如何ナルモノデアルカ、國體ノ本義ト云フ風ナコトヲ理解セシメル、サウシテ道義ト云フモノヲ朝鮮ニ確立スルト云フコトデナケレバ、ドウモ附焼双デハイケナイ、此ノコトヲ御著任以來機會アル毎ニヤカマシク言ツテ居ラレマシテ、殊ニ農民ガ朝鮮ニ於ケル所謂大衆層デアリマスノデ、皇國農民道ノ確立ト云フコトニ付キマシテ、凡ユル機會ニ凡ユル努力ヲ拂ツテ居ラレル所デアリマス、ソレ等ノコトガ、順次末端ニマデ滲透シテ行キマスト——是ハ中々難シイコトデアリマスルガ、大キナル方針トシテ總督ガ提唱サレテ、凡ユル機關ガ努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、段々末端ニマデ滲透致シマスルナラバ、漸次サウ云フ點モ改善セラレルコトニナラウカト存ズルノデアリマス、御示シノヤウニ、實ハ半島内ニ於キマシテモ、工場鑛山ナドデ三月四月位シカ落著カナイ、其ノ移動率ガ非常ニ多イ所ト、長ラク落著イテヤツテ居ル所ガアリマス、鑛山ノ生産力増強ノ問題ト致シマシテ、我々視察シテ見マスルト、今御話ノヤウニ勞務管理ノ遣リ方ノ上手ナ所ハ殆ド二年三年ト動キマセヌ、管理ノ巧クナイ所ハ相當ナ率ヲ以テ移動シテ居リマス、自然能率ガ劣ル、要シマスルニ半島ノ勤勞者ヲ使フ所ノ當事者ガ、本當ノ理解ト熱ト温イ心ヲ以テヤツテ戴ク所ハ、勤勞者

ノ能率ガ非常ニ上ルヤウデアリマス、今御示シノ點ハ正ニ其處デアラウト思フノデアリマス、何ト申シマシテモ習慣風俗、殊ニ言葉ガ十分デアリマセヌノデ、一寸シタ言葉ノ行違ヒデソコニ感情ノ疎隔ヲ來スト云フコトハ、是ハ小サイコトノヤウデアリマスルガ、相當大キナ結果ヲ齎スコトニナリマス、言葉ガ十分デアリマセヌ關係上、ソコニ言葉ノ行違ヒナドデ、感情ノ疎隔ヲ來スト云フヤウナコトガアル、又何ト申シマシテモ我々内地人ニ比ベテ、色々ノ點ニ於テ改善スベキ所モアル譯デアリマス、要ハ内地ノ方々ガ、此ノ二千五百萬ノ半島同胞ト云フモノハ、所謂一億國民ト言ハレテ居リマスル言葉通りニ、大日本帝國臣民ノ一人デアアル、而モ我々ガドウシテモ内地人ト同ジ段階ニマデ上ゲテヤラナケレバナラヌ、我々ノ兄弟デアルト云フ此ノ根本觀念ニ基キマシテ、温イ心ヲ以テ大キナ氣持デ之ヲ把握シテ導イテヤツテ戴ク、此ノ心持ヲ皆樣ガ御持チ戴クナラバ、今日色々言ハレテ居ル所ノ問題ノ、相當ナ部分ヲ解消スルコトガ出來ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、朝鮮自體ト致シマシテハ、先程申シタヤウニ、内地ニ來テ僻マナイ、可愛ガラレルヤウナ考ヘ方ヲ持ツヤウニ、内地ニ於キマシテハ又温イ大キイ氣持ヲ以テ之ヲ包ンデヤル、改善向上セシムルコトニ導イテ行ツテヤル、此ノ心持ヲ御持チ願フナラバ、洵ニ仕合セデアルト存ズルノデアリマス

○西川委員 尙農商大臣ハ御出席ナイヤウデアリマスガ、事務的ナ質問デゴザイマスカラ此ノ場合ニ質問ヲ致シテ置キマス、即チ昭和十八年法律第九十三號中改正ノ件デゴザイマスガ、此ノ第一條ニ示シテ居リマス米穀、大麥、稗麥及ビ小麥ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金、石炭及ビ化學肥料ノ價格ヲ調整スル爲ノ補給金額並ニ企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債ノ増發ヲ御要求ニナシテ居ルノデゴザイマスガ、特ニ本年更ニ御要求ニナリマシタ理由並ニドウ云フ方面ニドウ云フ風ニ御出シニナルノデアアルカ、内容ニ付テ一應ノ御説明ヲ承リタイ

○水田政府委員 昭和十八年法律第九十三號ノ改正ハ現行ノ法定額ノ一億三百三十萬圓ニ更ニ二億七百五十萬圓ヲ追加シテ三億一千八十萬圓トスル、此ノ爲ノ御協賛ヲ御願ヒシテ居ルノデアリマス、追加致シマスル二億七百五十萬圓ノ内容ハ御手許ニ參考書類ト致シマシテ出シテアリマスガ、米穀生産確保ノ補給金一億百七十六萬圓、麥類ノ生産確保ノ補給金一千九百九十八萬圓、石炭價格ノ調整補給金三千三百七十四萬圓、化學肥料ノ價格調整、是ハ四千五百二萬圓、企業整備關係ガ六百九十六萬圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、米ノ生産確保ノ補給金ハ昨年内地デ一石當リ十三圓五十錢ノ獎勵金ガ支給サレルコトニ決定ニ相成リマシタノニ即應致シマシテ、朝鮮デハ生産費其ノ他各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、石當リ十二圓ノ獎勵金ヲ生産者ニ交付スルコトニ決定ヲ致シタノデアリマス、今年ノ秋ニ穫レマスル米ノ收穫高ヲ豫想致シマシテ、其ノ豫想ニ基キ總督府ニ於ケル買上米、是ハ朝鮮内ニ於テ不足シテ居ル所ニ、餘ツテ居ル所カラ補充スル爲ニ買上ゲルノモアリマスレバ、内地ニ移出スル爲ニ買上ゲルノモアリマス、總督府ニ於テ買上

ヲ必要トスル石數ヲ豫定致シマシテ、ソレニ只今申シマシタ補給金ト云フモノヲ支給致シ、其ノ爲ニ必要トスル經費ノ中ノ十九年度分ノ支出致シモノガ此處ニ計上サレテ居ル譯デアリマス、一石當リ十二圓ト云フ僅カノ獎勵金デアリマス、麥ノ生産確保ノ補給金、是モ内地ニ於キマシテ、麥類ノ買上ニ付キマシテ大麥、小麥、稗麥ニ付キマシテ相當ノ引上ヲ致シマシタノニ追隨致シマシテ、朝鮮ノ生産費其ノ他ヲ考慮致シマシテ、必要トスル買上値段ノ引上ヲ致シマシタ、ソレニ十九年度ニ於テ買上スル數量ヲ豫定シテ、其ノ引上ガラレタノニ今ノ數量ヲ掛ケテ算出致シマシタノガ一千九百九十八萬圓、石炭ノ價格ノ調整ニ付キマシテハ十九年度ニ於キマシテ朝鮮ニ於テ有煙炭、無煙炭ヲ通ジマシテ算出ヲ致シマスル石炭ノ數量、是ハ物動デ以テ豫定サレテ居リマス、ソレニ生産費ト賣價トノ差額ヲ補給スルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、化學肥料ニ付キマシテモ硫酸、硫酸安其ノ他ノ肥料ノ物動ニ於テ要望セラレテ居リマスル數量、ソレノ生産費ト賣價トノ間ノ價格ノ補償デアリマス、企業整備ハ昨年ノ六月議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタモノニ付テノ實行ニ必要トスル經費ヲ、此處ニ計上致シテ居ル譯デアリマス

○水田政府委員 石當リ十二圓デアリマス
○西川委員 サウスルト十八年度ノ米モ十年產ノ米モ、石當リノ補給金ノ高ハ同ジデゴザイマスネ
○水田政府委員 同ジデゴザイマス
○西川委員 サウスルト十九年度ニ於キマシテ新タニ大麥、稗麥、小麥等ハ新シク補給金ヲ御出シニナル、尙石炭並ニ化學肥料ノ價格ノ調整ニ付テモ、十八年度ニハ御出シニナラナカツタモノヲ十九年度ニ新タニ御出シニナル、斯ウ云フ譯ニナルノデスガ

○水田政府委員 麥類ニ付キマシテハ昨年内地ガ引上ガ決定シテ、本年カラ實行サレルコトニナリマシタノデ、朝鮮モソレニ追隨シテヤルノデアリマスルノデ、初メデアリマス、石炭及ビ化學肥料ニ付キマシテハ、是ハ所謂價格政策ガ、補給金デ生産費ト賣價トノ開キヲ補ツテ行クト云フ制度ガ立テラレマシテ以來、朝鮮ト致シマシテモ内地ニ順應致シテ實行致シテ居ルノデアリマスルガ、ソレノ財源ヲ公債ニ仰グト云フコトニ御願ヒ致シテ居ルノハ此ノ昭和十九年度ガ初メデアリマス

○西川委員 石炭及ビ肥料ニ對スル補給金、石炭「トシ」アタリノ補給金額、ソレカラ化學肥料「トシ」アタリノ補給金額ハ、十八年度ト十九年度ト同ジデゴザイマスカ、又増額サレタノデゴザイマスカ
○水田政府委員 十八年度ニ比ベマシテ或ル程度ノ増額ニ相成ツテ居リマス、是ハ生産費ト賣價トノ計算致シマシテ、ソレノ足リナイ部分ヲ補給シヨウト云フ建前ニナツテ居リマス
○西川委員 ソコデ石炭及ビ肥料等ニ付キ

マシテハ、十八年度ヨリモ十九年度ノ方ガ生産費ガ高クナツテ來タノデ、隨テ補給金モ増額スル必要ガアルト云フコトデアラウト考ヘルノデアリマスガ、尙麥類ニ付キマシテモ、前年度ハ補給金ノ必要ガナカツタノアルケレドモ、本年度ハソレガ必要ニナツタト云フコトニナルト思ヒマス、是ハ極メテ當然ナコトデアリマシテ、急激ニ生産事情ガ變動シテ參ツテ居リ、ソレガ好ムト好マザルトニ拘ラズ生産費増高ノ方向ニ向ツテ累積致シテ居リマスル現實ニ於キマシテハ、ヤハリ甚ダ面白クナイコトデアリマスルガ、一定ノ販賣價格ヲ維持セントスルナラバ、年々補給金ヲ増額スルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、然ルニ米ノ方ハ、昭和十八年ニモ十二圓デアリ、昭和十九年ニモ十二圓デアアル、是ハ其ノ間ニ於ケル生産狀況ノ變化ハナイモノト云フ風ニ御認定ニナツタ結果デナクテハナラナイデアアラウト思フノデスガ、併シ事實ニ於キマシテハ其ノ變動ハ極メテ大キイノデアツテ、若シ之ニ對スル措置ヲ怠ツタナラバ、是ハ期待スルダケノ米穀ノ増產ヲ確保シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ、非常ニ憂慮シナクテハナラナイノデアリマス、我々ハ戰時財政ノ協賛ニ當リマシテ、其ノ出費ハ一錢ト雖モ疎カニセズ、此ノ貴重ナル國費ノ使途ニ付キマシテハ十分ナ吟味ヲ致シ、慎重ナ態度ヲ執ラナクテハナラナイノデゴザイマスケレドモ、現實ニ國家ガ求メテ居リマスルノハ金ヨリモ米デアリマシテ、米ノ増產ヲシテ戴ク爲ニハ、財政上ヤハリ苦シクトモ大イニ奮發シナクテハナラナイ點モ多イノデアリマス、大體總督府當局ニ於カレマシテハ、昨年ト同ジ生産事情ノ下ニ、

其ノ生産費ヲ價ヲ補給金ノ増額ナクシテ増產ヲ十分ニ期待シ得ルト御認メニナル十分ナ確信ヲ持ツテ居ラレルノデアアルカ、或ハ又、補給金ハ増額シナイケレドモ、生産事情ノ變化ニ對シテハ、斯ウ云フ風ナ手ガ他ニ打ツテアルト云フヤウ御用意ガアルノデアアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス
○水田政府委員 麥類等ノ補給金ノ増額ハ、米ノ補給金ガ増額セラレタニ追隨致シマシテ決定サレタ事情ニアリマス、尙米ノ補給金ニ付キマシテモ、是ハ朝鮮ダケノ事情モアリマスルガ、内地ト不可分ノ關係ニアリマスルノデ、内地ニ於キマシテ補給金ノ必要デアルト云フコトヲ認メラレテ増額セラレマスルニ追隨シテ、朝鮮ノ方モ之ヲ執行スルト云フコトガ實情ニ相成ツテ居リマス、其ノ點御諒解ヲ願ツテ置キマス、米ノ生産ニ付キマシテハ、御話ノ通りニ凡ユル手段ヲ盡シテ是ガ増產ヲシナケレバナラナイノデアリマス、補給金ニ付キマシテハ、今申上ガマシタヤウニ、朝鮮トシマシテハ内地ト不可分ノ關係ニアリマス爲ニ、内地ノ補給金ノ増額ニ習ツテ之ヲ實施スル、其ノ程度ニ付キマシテハ、朝鮮ノ事情其ノ他ヲ考慮シテ決メテ譯デアリマスガ、内地ニ右ヘ倣ヘシテ之ヲ實行スルト云フコトヲ御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、米ノ増產ニ付キマシテハ尙今議會ニ本豫算並ニ追加豫算ヲ御協賛ヲ御願ヒ致シテ居リマスルヤウニ、小規模ノ土地改良ノ事業ヲ全面的ニ行ヒ、尙既定ノ土地改良ノ事業ヲ繰上ガテ之ヲ施行スル、其ノ他米ノ増產ノ爲ニ凡ユル努力ヲ盡スト云フ爲ニ、全部デ殆ド八千萬圓近クノ經費ノ支出ニ付キマシテ御協賛ヲ願ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、

出來ルダケノ方法ヲ盡シマシテ是ガ増産ヲ期スルコトニ致シタイト思フテ居リマス

○西川委員 御説明ニ依ツテ明確ニ分リマシタ、米ノ補給金ヲ前年度ニ據置カレマスルノハ内地ニ追從シタノデアル、右ハ倣ヘデアルト云フ御答ヘデアリマスカラ、倣ハレル右其ノモノ、内地其ノモノノ其ノ措置ガ適正ナリヤ否ヤト云フコトヲ我々ハ檢討シナクテハ、右ニ倣フタ本人ノ可否ヲ決スルコトガ出來ナクナリマシタ、サウシテ此ノ問題ハ苟クモ戰時食糧政策ノ根幹ニ關スル問題デアリマシテ、當然國務大臣ノ責任ニ於テ御答辯ヲ戴カナケレバナリマセヌノデ、國務大臣出席マデ此ノ質疑ヲ保留致シマス

○中村委員長 ソレデハ本領信治郎君、文部當局ニ對スル質問ノ保留ガアリマスガ、只今菊池文部次官、柴沼政府委員ガ御出席デアリマスカラ、此ノ際文部當局ニ對スル質疑ヲ進メラレタイト思ヒマス、永井專門學務局長ハ他ノ委員會ノ祕密會ニ入ツテ居ラレルサウデ目下出席困難ナ模様デアリマスカラ、次官及ビ他ノ政府委員ニ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○本領委員 先般私立大學ノ整理統合ノ問題ガ文部當局ニ於テ取上ゲラレマシタガ、此ノ問題ハ敢テ強行シナイデ御破算トナリマシテ、私立大學ニ關スル限リ從前通りニナツタヤウニ承ツテ居リマス、其ノ結果、私立大學側ニ致シマス、自分ノ大學ヲ其ノ儘ニ保存シタイト云フ要求ハ通りハシマシタモノ、結果ニ於テ非常ナ大學ノ經營難ニ陷ツテ居ル如クデアリマス、此ノ問題ニ對シマシテ文部當局ハドウ云フ御處置ヲ其ノ後御執リニナツタカ、私ハコ、デ整理

統合問題其ノモノヲ蒸シ返スコトハ致シマセヌガ、此ノ問題解決後ノ文部當局ノ私立大學ニ對スル新ナル對策ハドウデアルカ、之ヲ御聽キシタイノデアリマス

○菊池政府委員 只今本領サンカラ御話ガゴザイマシタヤウニ、私立大學ノ所謂整理統合ノ問題ハ、昨年十二月二十日ノ閣議決定ニ依リ其ノ方針ガ決定セラレタノデゴザイマス、是ハ戰時ニ於ケル教育ノ非常措置トシテ、中等學校、國民學校、青年學校、高等專門學校、大學各般ニ付テ決定ガアツタ譯デアリマシテ、其ノ一環ヲ成スモノデアリマス、只今御示シガゴザイマシタヤウニ、其ノ閣議決定ニ依リマシテモ私立ノ大學、專門學校等ニ付テハ、ソレト特殊ノ沿革歴史ガアリマスルシ、是ガ措置ニ付テハ文化發展ノ上ニ重要ナル關係ヲ持ツコトヲ慮リマシテ、現存ノ大學、專門學校ハ其ノ儘存置セラレ

（委員長退席、古田委員長代理著席）
唯一面作戰要員、勞務要員等ノ國家ノ要請ガゴザイマスカラ、ソレト睨ミ合セテ入學ノ定員ヲ前年度ヨリハ減少シテヤツテ參ル、斯ウ云フ大體ノ方針ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ本年度ノ途中ニ於テ徵集猶豫ノ撤廢ガゴザイマシタ、學生應召ガゴザイマシテ、茲ニ相當ノ人數ノ學生ガソチラノ方ニ參リマス關係上、學校ニ於テ授業料ヲ初メ收入ノ激減ヲ生ズル、是等ノ缺陷ニ對シテハ年度半バノコトデモアリマスシ、一ツ適當ナ方法ニ依ツテ其ノ經營上ノ補助ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙大學、專門學校等ニ於テ、時局ノ要請ニ基キ理科系ノ學部學科ノ内容ヲ充實シ、國家ノ要請ニ即應シテ參ラナケレバナリマセヌガ、之ニハ必

要ナル限度ニ於テ、其ノ内容改善促進ノ助成ノ方法ヲ考ヘテヤリタイ、豫算ニ於テモ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙徵集猶豫撤廢ノ結果、大學等ニ於テハ相當學生ガ減リマシタ、併シナガラ大學ノ使命カラ考ヘマス、大學ハ學生ノ教授ト同時ニ研究ト云フ一ツノ使命ヲ持ツテ居リマス、精神科學方面、殊ニ時局下必要ナル方面ノ研究ニ對シテハ、相當ノ程度ニ於テ助成ヲ致シタイ、必要ナル補助モ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、私學ノ發達、此ノ時局ニ即應シテ必要ナル改善ヲ致スト云フ上ニ於キマシテハ、今後ニ於テモ色々ト考ヘラレベキ問題ガアルト思ヒマスガ、取敢ヘズノ措置ト致シマシテハ、十八年度及ビ十九年度ニ互ツテ是等ノ必要ナル助成ノ方法ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○本領委員 只今ノ御答辯中、本年度途中ニ於テ學徒動員ガ行ハレテ、其ノ爲ニ私立ノ大學、專門學校ガ財政上ノ缺陷ヲ生ジタ、ソレヲ補充スル爲ニ適當ナル方法ニ依ル補助ヲ考ヘテ居ルト仰シヤイマシタガ、適當ナル方法ニ依ル補助ト仰シヤイマスト是ハドウ云フ内容デアリマセウカ、豫算上ニ然ルベク現ハレテ居ルノデアリマス

○菊池政府委員 文科系ノ私立大學、豫科、高等學校、專門學校等ニ於キマシテ、只今申シタヤウニ徵集猶豫ノ撤廢ニ依リ相當數ノ學生生徒ガ入營致シマシタ、御承知ノヤウニ昨年十二月カラ入營ヲ致シテ學生ガ激減ヲ致シマシタ、ソコデ十二月分カラ授業料ハ是等ノ學生ニ對シテハ免除ヲ致スト云フコトニナツテ居リマスカラ、相當額ノソコニ收入減ヲ來シテ居ル、ソコデ年度中途ニ於テ斯様ナ收入減ヲ生ジマシタカラ、學

校ニ於テハ之ニ伴フ經費ノ節約モ相當行ハレルト思ヒマスケレドモ、併シ經營上急ニ引締メタルト云フコトハ中々困難デアラウ、其ノ收入ヲ補填スル意味ヲ以チマシテ之ニ補助ヲ致シタイ、サウシテ是ハ十八年度ノ追加豫算トシテ要求ヲシ、其ノ追加豫算ハ大體決定致シマシテ本院ニ於テ御審議ヲ煩ハス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、左様御諒承願ヒマス

○本領委員 金額ハ幾ラデスカ
○菊池政府委員 其ノ他ノ費目モアリマスカラ、ソレヲ合セマシテ十八年度ノ追加豫算ニ計上致シテ居リマスノガ二百五十萬圓デアリマス

○本領委員 只今ノ御答辯中、本年度途中ニ於テ學徒動員ガ行ハレテ、其ノ爲ニ私立ノ大學、專門學校ガ財政上ノ缺陷ヲ生ジタ、ソレヲ補充スル爲ニ適當ナル方法ニ依ル補助ヲ考ヘテ居ルト仰シヤイマシタガ、適當ナル方法ニ依ル補助ト仰シヤイマスト是ハドウ云フ内容デアリマセウカ、豫算上ニ然ルベク現ハレテ居ルノデアリマス

○菊池政府委員 繰返シテ一寸要領ヲ申上ゲテ置キマス、只今申シマシタ授業料缺陷ニ伴フ補填ノ補助ガ一ツデアリマス、ソレカラ教職員ノ戰時非常措置ニ伴ヒマシテ、所謂職業轉換或ハ退職ニナル場合、之ニ對シテ設立者ノ方カラ支給スル、其ノ支給ニ對シテノ補助、第三ニハ文化系ノ大學等ニ於キマシテ、精神科學ノ研究ヲ繼續セシメマス意味ヲ以テ、其ノ研究施設ニ對シテ所要ノ經費ノ一部ヲヤル、是等ヲ合セマシテ二百五十萬圓デアリマス

○本領委員 本年度ノ缺陷ニ對スル措置トシテハ或ハソレヲ以テ足リルカモ知レマセヌガ、私ノ計算デハ聊カ少額ニ過ギル如ク感ゼラレマス、是ハ兎ニ角極メテ一時的ノモノデアリマスカラ、大學、專門學校當局

ニ於テモ、ソレハ善處スルコトヲラウト
思ヒマス、併シナガラ既ニ在學中ノ者ガ多
數應召シタコト、ソレカラ今年ノ新入學期
ニ際シテ募集人員ヲ著シク制限セラレタ爲
ニ、私立學校ノ重大ナル財源デアリ授業料
ガ大ナル減收ヲ來シ、當然ソコニ相當長期
ニ續ク經營難ガ前途ニ横ハツテ居ル譯デア
リマス、隨ヒマシテ文部當局ニ於テ今年度
ノ缺陷ニ對シテ左様ナ措置ヲ執ラレル、同
ジ趣旨ガ持續セラレマスナラバ此ノ長期ニ
互ル經營難ニ對シマシテモ、然ルベキ援助
ガナクテハナラナイ譯デアリマシテ、何カ
私立大學、專門學校ニ對スル年額幾ラトカ、
決マツタ補助金デモ御出シニナルヤウナ御
積リハ立ツテ居ルデアリマスカ

○菊池政府委員 只今申上ゲマシタノハ十
八年度ニ於ケル措置デアリマス、先程申
上ゲマシタヤウニ、全ク年度ノ途中ニ於キ
マシテ、急ニ斯ウ云フ動員計畫カラ流レテ
來ル變化ガアリマシテ、ソレニ即應シテ昨
年ノ十二月分カラノ措置ヲ考ヘテ居ル次第
デアリマス、十九年度ニ於キマシテハ、先
程申上ゲマシタヤウニ、學校ノ當初ヨリ一
ツノ計畫ガ變ツテ策定サレバナラナイ立
場ニアルデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シ
マス、入學定員ガ、高等學校、大學豫科
等ニ付テハ三分ノ一、專門學校、專門部等
ニ付テハ約二分ノ一ト云フ計畫ノ下ニ、學
校計畫ヲ遂行スル方針デアリマス

○古田委員長代理退席、委員長著席
此ノ計畫ノ下ニ學校ニ於キマシテモ或ハソ
レニ伴フ節約ノ圖ル、場合ニ依ツテハ歳入
ノ上ニ於テ授業料ノ調節ヲ圖ルト云フヤウ
ナ、ソレハノ區分ガ考ヘラレルカト思ヒ
マス、十九年度ニ於テモ其ノ減少シタ學生

數ニ比例シテ國ノ補助ヲ與ヘタラ宜イデハ
ナイカト云フ御示シデアラウト思ヒマスガ、
是ハ相當財政關係モアリマシテ、只今ノ所ハ
ソコマデ考ヘテ居リマセヌ、今後ニ於テモ
尙其ノ點ハ他ノ一般問題ト竝ンデ考究致シ
タイト考ヘテ居リマス

○本領委員 サウ致シマス、十九年度以
降ハ大學當局ニ於テソレ自身ノ應急策ガナ
クテハナラナイ、特ニ文部當局トシテハ學
校ノ縮小セラレタコトニ對シテ補助的ナモ
ノハ考ヘテ居ラス、斯ウ云フ風ニ承リマシ
タガ、一應ソレデ了承致シマスガ、先般ノ
整理統合問題ノ經緯ナドヲ想ヒ起シマス、
此ノ問題ヲ通ジテ又ソレ以前專門當局ト私
立大學トノ色々ノ關係ヲ想ヒ起シマス、
大體文部大臣ノ私立大學、專門學校等、上
級學校ニ對スル指導監督ノ權能トデモ申シ
マセウカ、サウ云フモノガ甚ダ不備デアル、
其ノ爲ニ文部當局デ斯ウシタイ、斯ウ云フ
方向ニ持ツテ行キタイト思ハレテモ、實際
ハサウ持ツテ行クコトガ出來ナイ、恐ラク
文部當局ソレ自體デモ困惑セラレタコトガ
アルノデハナイカト思フ、先般ノ問題等ヲ
通ジテ何カ文部當局デ私立大學ニ對スル指
導監督ノ權能ニ付テ、法制的ナモノデモ作
ラウト云フ考ヘガオアリニナルヤウナコト
ハナイデセウカ

○菊池政府委員 學校ノ整備統合、是ハ他
ノ經濟上ノ企業整備等トハ大分趣キ異ニ
致シテ居リマス、學校ノヤウナ教育機關デ
精神的問題ヲ取扱ヒ、又多クノ學生ヲ擁シ、
多年ノ歴史ト沿革傳統ヲ持ツテ居リマスル
此ノ學校ニ對スル措置ト云フモノハ、餘程
事情ニ即シテ考ヘマセヌト、折角ノ精神的
教育機關ヲ殺スト云フコトニナリマスノデ、

其ノ邊ハ學科ノ性質ナリ、地方ノ配置ノ關係
ナリ、傳統ナリ、色々勘案致シマシテ處理
スベキ事柄ト考ヘマス、隨テ所謂統合ト申
シマシテモ、機械的ニ統合シテハ是ハ折角ノ
成果ガ舉リマセヌ、ソコデ閣議決定等ニ於
キマシテモ、統合ノ可能ナル場合ニ於テハ
是ハ促進スル、學校ノ自發的ノ創意ヲ以テ、
又相互ニ能ク相談シ合ツテ、話ガ纏マレバ
統合ヲヤル、一方機械的ニ強權ヲ以テ唯引
摺ルト云フコトハ餘程是ハ考ヘナケレバナ
ラスト、斯ウ考ヘテ居リマス

ソレカラ今指導監督ニ付テノ御話ガゴザ
イマシタガ、御指摘ノヤウニ此ノ點ハ我々
洵ニ相濟マスと思ヒマスルガ、今日指導監
督ノ機關ノ上カラ申シマシテモ中々手薄デ
ゴザイマシテ、十分ニ手ノ届クト云フ所ヘ
參ツテ居リマセヌ、是ハ日夜努力致シテ居
リマスルガ、中々力ノ至ラナイコトヲ恐縮
ニ思ツテ居リマス、此ノ學校經營者ノ指導
監督ト云フコトニナリマス、是ハ大體ニ
於テ財團法人ト云フヤウナ特殊ノ機關ニ依
ツテ經營セラレテ居リマス、サウ云フ機關
ノ運営ニ付テノ監督方法ガハツキ致シテ
居リマセヌト十分ナコトハ出來ナイノデア
リマス、又或ル意味ニ於キマシテハ、是ハ
相當ハツキリスルガ宜イト思ヒマス、併シ現在
ニ於キマシテハ是ハ民法上ノ財團法人ノ運
營デヤツテ居リマスガ、ヤハリ學校ト云フ
特殊ノ生活形態ト云フモノヲ考ヘマス、
サウ云フ法制的措置ニ於テモ考究ヲ要スル
點ガアリハシナイカ、一般ノ財團法人ノ様
式ガデナク、ソコニ相當研究スベキ
部面ガアリハシナイカ、是等モ目下研究致
シテ居リマス、ソレカラ先程御話モゴザイ
マシタヤウニ、當時ト違ヒマシテ目下戰時

非常ノ際デアリマス、又或ル場合ニ於キマ
シテハ現在ノ私立學校令ガケデナクテ、モ
ウ少シ戰時ニ即應スル、場合ニ依ツテハ非
常ノ方法措置ヲ講ズル必要ガ起ラヌトモ限
ラス、空襲其ノ他非常事態ノ起ツテ來ルコ
トモ考ヘニ入レテ、色々行政上ノ工夫ヲ致
サナケレバナリマセヌ、サウ云フ場合ニ於
ケル學校教育、法令上ノ戰時ノ非常措置ト
云フ點ニ於テモ考究スベキ必要ガアリハシ
ナイカ、サウ云フ點ヲ研究致シタイト思ヒ
マス

○本領委員 文部大臣ノ指導監督ノ權能ニ
付キマシテ御尋ネヲ致シ、其ノ際私ハ先般
ノ整理統合問題ヲ例ニ引キマシタケレドモ、
併シ私ハ先般話題ニ上ツタヤウナ整理統合
ノ力ガ、文部大臣ニ其ノ儘持タレルコトヲ
宜イト思ツテ御尋ネシタ譯デアリマセヌ
ノデ、此ノ點ハ明確ニシテ置キタイト思ヒ
マス、併シ今次官ガ述べラレタヤウナ不備ヲ
補フ爲ニ、目下其ノ方法ニ付テ研究中ト云
フ御話デアリマシタガ、其ノ研究ハ相當進
ンデ、何カ法制的ナモノニ持ツテ行クベク、
既ニ立案ガ相當進ンデ居ルノデハナイデセ
ウカ

○菊池政府委員 是ハ先程申上ゲマシタ教
育ニ關スル非常措置全體ニ關聯致シマシテ、
例ヘバ國民學校ノ義務教育年限延長ノ實施
ノ延期、或ハ中等學校ノ修業年限短縮ノ速
急實施、青年學校ノ措置、高等專門學校等
ニ對シテノ戰時措置、是等ト相關聯致シマシ
テ、此ノ戰時ニ即應スル必要ガアレバサウ
云フ措置ヲ講ズルト云フ法制的ノ立案ハ只
今進ンデ居リマス、併シ此ノ運用ニ付テハ
先程來線返シテ申シテ居リマスヤウニ、是
ハ學校ノ種類、程度等ニ依ツテ非常ニ慎重

第六類第二號 昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件委員會會議錄 第四回 昭和十九年一月二十六日 六一

ニ考ナケレバナリマセヌノデ、取扱ハ閣議決定ノ方針ニ從ツテ取扱ハナケレバナラスト云フ點ハ一貫致シテ居リマス、左様御諒承願ヒマス

○本領委員 次ニ今般文科系統ノ高等學校、專門學校ノ入學人員ヲ、ソレト官立ニ於テハ直接制限セラレマシタシ、私學ニ於テハソレニ倣フテ同ジ率ニ制限スルヤウニ恣恣セラレタ結果、實際上各私學ハ制限スルコトニナツタヤウデアリマスガ、其ノ結果二三ノ重要ナ問題ガ派生シテ居ル如クニ見レノデアリマス、元來文科系統ノ上級學校ヘノ入學人員ヲ制限スルト云フコトソレ自體ニモ問題ガアルノデアリマスガ、即チ入學セシメテ置イタ所デ、若シ先程言ハレタヤウニ、ソレガ作戰動員ノ爲ダトスルナラバ、學徒トシテ入營セシムルコトモ出來ル譯デアリマスシ、必ズシモ學校ノ門戸ヲ狹クシナケレバナラナイト云フ理由ハ成立タナイ、而シテ又從來我が國ノ教育ガ文科系統ニ過重ニ偏シテ、理科系統ガ輕視セラレテ居ツタ、今ヤ戰爭ニナツテ理科系統ノ專門技術者ヲ多ク必要トスル、

ダカラ文科系統ノ志望者ヲ抑ヘテ、理科系統ニ付テハ大イニ歡迎スルト云フコトデアルナラバ、教育ノコトハ相當長期ノ期間ヲ要スルノデアリマシテ、今年文科系統ノ入學者ヲ抑ヘテ、理科系統ノ入學者ヲ殖ヤシタカラト云ツテ、直グソレガ戰爭ノ間ニ合フト云フ譯ノモノデハナイノデアリマスカラ、戰爭ト云フモノヲ一ツノ動機トシテ、我が國ノ在來ノ教育上ノ缺陷ヲ直サレヨウト云フノナラ、是ハ又一ツノ理由トナルノデアリマセウ、隨ヒマシテ私ハサウ云フヤウナ見解モアルガ故ニ、一ツ此ノ

機會ニ文部當局ノ文科系統ヘノ入學希望者ノ極度ニ制限セラレタ其ノ理由ノ方ニ付テモ御聽キシタイ、ソレカラサウシタ事實ノ結果派生シタ所ノ若干ノ問題ニ付テモ御聽キシタイと思ヒマス、先ヅ文科系統ノ入學人員ヲ著シク制限セラレタ理由ニ付テ、改メテ御伺ヒシタイと思ヒマス

○菊池政府委員 先程申上ゲマシタ徵集猶豫ノ制度ノ徹底ガゴザイマシテ、是ハ文科系統、理科系統、何等差別ナクシテ、所謂一億戰團配置ニ就クト云フ建前ニ於テ、之ヲ全部撤廢サレタノデゴザイマス、隨ヒマシテ直チニ其ノ適齡ノ者ハ徵兵檢査ヲ受ケタノデアリマス、唯一方軍ノ要員ノ關係ト睨ミ合セテ、其ノ要員計畫カラ勘案セラレマシテ、此ノ文科系統ノ學生ハ、是ハ直チニ入營スル、理科系統ノ者ハ是ハ今日ノ時局ノ要請カラ鑑ミマシテ、例ヘバ醫者トカ、工業技術員或ハサウ云フ方面ノ研究者、是ハ今急イデ之ニ力ヲ付ケテ置カナケレバナラス、デアルカラ入營スルコトヲ暫ク待ツテ、先ヅ力ヲ付ケテカラ遲レテ入營スル、其ノ前後ノ關係ガアルダケデアリマシテ、理科系統ノ方ガ何カ動モスレバ特典デモアルト云フヤウナ意味デハ決シテナイノデアリマス、國民動員計畫ノ方カラ全體のニ流レテ來テ居ル所ノ配置計畫デアアルノデゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、斯様ナ見地カラ軍要員並ニ勞務要員、是ハ非常ニ莫大ノ要員ノ要請ガアル譯デアリマス、サウ云フ國民ノ動員計畫ニ即應シテ考ヘマスルト、此ノ文科系統ノ定員ヲ考ヘル場合ニ於キマシテモ、此ノ際相當縮減ヲスルト云フコトハ、彼此レ睨ミ合セテ已ムヲ得ナイ、斯様ニ考ヘテ

居ル次第デアリマス

○本領委員 文科系統ノ入學者ヲ制限スルコトカラ、直接作戰動員ニハ兎モ角トシマシテ、生産の方面ニ相當效果ノアルコトモ御説ノ如ク期待シ得ルデセウガ、ソレニ付テハ何カ具體的ナ御調査ガセラレテ居リマセウカ、即チ今般官立私學ヲ通ジテ入學者ガ餘程減リマスカラ、ソレダケ社會ニハミ出テ居ル譯デアリマス、ソレハ生産方面ニドノヤウナ貢獻ヲナシ得ルカト云フ點ニ付テハ如何デアリマスカ

○菊池政府委員 是ハ豫テヨリ、今ナクナリマシタ企畫院ヲ中心ニシテ、現在ハ軍需省デアリマス、ソレカラ厚生省、農商省、ソレカラ陸海軍、各方面ノ非常ニ精密ナ數字、要請ノ計畫上ノ數字ヲ勘案致シマシテ、サウシテ御承知ノヤウニ人的物的ノ各動員計畫ガ策定セラレマシテ、其ノ動員計畫ト睨ミ合セ勘案致シタノデゴザイマス、此ノ計畫ノ要請ハ實ハ打明ケテ申シマス、相當ノ要請デアリマシテ、或ハ此ノ軍需生産等ヲヤリ抜ク爲ニハ、或ル意味ニ於テハ學校ハ場合ニ依ツテハ一時閉鎖シテモト云フヤウナ位ノ要求モアリ、又アリ得タ、ソコハ今御話モアリマシタガ、一方ニ於テ教育ノアル、力ヲ積ムト云フコトハ、是ハ私ハ廣イ意味ノ先ヘ行ツテカラノ軍要員ノ關係カラ言ツテモ必要デアリシ、又廣イ意味ノ國家ノ建設面ヲ擔當シテ行クト云フ、所謂教育要員ノ建前カラ言ツテモ、サウ云フコトモ一方ニ於テハ考ヘナケレバナラス、其ノ間ニ凡ソ事態ニ即應シテ先ヅ此ノ邊ガト云ツテ調整セラレマシタノガ、大體ニ於テ大學豫科、高等學校ハ三分ノ一程度、ソレカラ專門學校ハ凡ソ二分ノ一程度、サウ云フ

所デ大體人數ヲ出サウ、斯ウ云フ風ニナリマシタ次第デゴザイマス

○本領委員 豫科、高等學校ガ三分ノ一專門學校ガ二分ノ一ト區別ヲ付ケラレマシタ理由ハ何ニ基クノデアリマセウカ

○菊池政府委員 是ハ絶對的ノ區別ト云フコトデハゴザイマセスガ、專門學校ハ先ヅ凡ソ半分位取レバ、大學ノ方ハ是ハ大學豫科カラ、若シハ高等學校カラ之ヲ經過シテ行カナケレバナリマセス、所ガ御承知ノヤウニ徵集猶豫ト云フモノガ撤廢セラレマシタカラ、適齡ノ二十歳ニナルト總テ入營ト云フコトニナル、殆ド八割位ハ入營スルコトニナル、サウシマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、大學ヘ入ツタ所デ大體モウ入營ト云フコトニナリマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマス、先ヅ適齡マデニ出來ルダケ教育ヲ完結スルニハ、專門學校程度ガ一番考ヘ易イ所デアル、ソコデ專門學校ノ方ヲ私立ヲ少シ多ク見マシテ二分ノ一、大學豫科ノ方ハ三分ノ一、凡ソサウ云フウナ心持デ此ノ差ヲ設ケマシタ次第デアリマス

○本領委員 私ノ考ヘデハ大學豫科、高等學校ノ方ヲ殊更專門學校ヨリ少クスル理由ハナイヤウニ思フノデアリマス、成程就學途中デ應召スルヤウナ場合ニ立チ至リマセウガ、併シ再ビ祖國ノ土ヲ踏シダ場合ニハ其ノ儘學修ヲ續ケルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、何等學校ニ入レズシテ、學徒タリ得ズシテ就學ノ機會ヲ戰爭ノ爲ニ延期セラレテ年長ジテカラ改メテ入學——其ノ時分ニ入學試験ガアルカナイカ分リマセスガ、アルトシテ又狹イ門カラ潜ルト云フコトデハ、餘程狀態ガ私ハ違フト思ヒマス、サウ

云フ點カラ云ツテ出來ルダケ收容シ得ルナ
ラバ、入學セシメテ置イタ方宜イカトモ斯
様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ意見トシテ
申上ゲテ置キマス

モウ一ツ問題ハ專ラ私學ニ關シテデアリ
マスガ、徵集猶豫ガ撤廢セラレ、殊ニ又今
回検査ガ一年早マリマシタ關係カラ、私學
當局ハ唯サヘ入學者ガ二分ノ一若シクハ三
分ノ一ニ減ジタ、折角入レタ者ガ途中デ又
軍隊ニ行ツテシマフト云フ風デハ、是レ亦
早イ話ガ授業料ガ取レナイ、斯ウ云フ懸念
ハ當然持ツコトニナルト思フノデアリマス、
ソコデ差當リ今度ノ春ノ入學試験ニ際シテ
モ、相成ルベクハ軍隊ニ行クマデハ、自分
ノ學校ニ引續キ留マツテ居ラレルヤウナ條
件ノ者、言ヒ換ヘルナラバ出來ルダケ若イ
者ヲ採リタイト云フヤウナ希望ヲ持ツデア
ラウコトガ推測セラル、ノデアリマス、實
際ニ之ヲ考ヘテ見マス、今年中學四年ヲ
出タ者ハ出來ルダケ歡迎スル、併シ既ニ中
學五年卒業ノ者ハ、而モ年齡ハ滿十八歲、
滿十九歲、又ハ滿二十歲ニナツテ居ル者ノ
如キハ、折角入レテモホソノ暫クシカ自分
ノ學校ニ居テ吳レナイカラ、サウ云フ者ハ
成ベク採リタクナイト云フヤウナコトニナ
ル危險ガ多分ニアルノデアリマス、サウシ
マス、トコ、ニ甚ダ不幸ナ境遇ニ遭遇スル者
ハ、現在滿十九歲、二十歲、二十一歲ノ者
達デアリマシテ、是ハ遂ニ今度ノ機會ニ上
級學校ヘ進ム機會ヲ、永遠ニ摘マレシマ
フコトニナルノデアリマス、實際ノ受驗資
格ハ無論アリマセウ、而シテ今年ノ如キハ
新タニ中學四年若クハ五年卒業シタ者
ガ殺到スル外ニ、從來ノ所謂浪人組ガ今年
コソハト殺到シテ來ルダラウト思ヒマス、

而モ不憫ナル哉、私學當局ガサウ云フヤウ
ナ態度ヲ執ツテ居リマシタナラバ、是ハ實
ニ氣ノ毒ナ立場ニ置カレコトニナルト思
フノデアリマス、官學デアリマス、會計上
ノ保障ガアリマスカラ、入ツタ者ガ入ルヤ
否ヤマル、軍隊ニ行ツテ空ツポニナツ
テモ宜イデセウガ、私學ハサウハ參リマセ
ヌ、隨ヒマシテ私學ガサウ云フ氣持ヲ持ツ
テ居ルトシテモ、是ハ大イニ同情スベキ點
ガアルノデアリマス、何、幾ラ出テ行ツテ
モ文部當局デ補助金ヲ出シテ呉レル、斯ウ
云フヤウナコトデアレバ兎モ角デスガ、先程
一番初メニ御尋ネシマシタヤウニ、補助金
ノ點ハ考ヘテ居ラナイト言ハレルト、學校
ハ益、經營ニ苦心ヲシナケレバナラス、其
ノ苦心ノ現ハレガサウ云フ所ヘ現ハレテ來
タ場合ニ、是ハ重大ナル社會問題ノ性質ヲ
帶ビタモノガ、現ハレテ來ルト思フノデア
リマス、斯ウ云フ點ニ付テ文部當局ハ、ド
ウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルデセウカ
○菊池政府委員 御話ノヤウニ適齡低下ヲ
致シマスルト、在學期間中ニ應召ニ遭遇スル
ト云フヤウナコトガ起ルデアラウ、隨デ或
ハサウ云フヤウナ該當者ヲ、入學關係ニ於
テハ成ベク入レタクナイト云フヤウナ學校
ノ事情ガ起リハシナイカト云フヤウナ御心
配デゴザイマスルガ、是ハ私共ト致シマシテハ
出來ルダケサウ云フコトノナイヤウニ致シ
タイト思ヒマス、適齡低下ノ結果、途中ニ
於テサウ云フ應召ト云フコトニ打突カルト
云フコトガ起ルカモ知レマセヌケレドモ、
併シ是ハ成ベク卒業時期等ニ付キマシテモ、
今後モ色々考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ
先程申シマシタヤウニ、本年度カラ中學五年
制度ノ四年修了者ニモ入學資格ヲ認メマス、

是ハ出來ルダケ早目ニ專門教育ヲ完結シタ
イト云フ立場カラデアリマス、學校ノ就學
ノ途中デアツテモ、其ノ途中ニアル者ガ御
召シニ應ジテ、「ベン」ヲ棄テ、劍ヲ執ルト云
フ盡忠報國ノ精神カラ申シマス、學徒デア
リナガラ征クト云フ所ニ、又非常ニ尊イ所
ガアルト思フノデアリマス、單ニ授業料收
入ダケノ關係ニ於テ、斯ウ云フモノヲ入學
採用ノ時ニ除クト去フヤウナコトハ、學校
當局トシテハ絕對サウ云フヤウナコトノナ
イヤウニ致シタイ、出來ルダケ其ノ人物、成
績ヲ基本ニシテ、是ガ國家有用ノ材ニナル
ト云フ者デアラナラバ、其ノ望ミニ依ツテ
進學ノ機會ヲ與ヘテ行クヤウニ致シタイト
考ヘテ居リマス
○本領委員 次官ノ今ノ御氣持ハ無論能ク
分ルノデアリマスガ、併シ實際問題トシテ、
ソレハ唯次官ガ御苦勞サナルダケデハ私ハ
解決ガ付カナイ問題ダト思フノデアリマス、
是ハアリ得ベカラザル例カモ知レマセヌガ、
例ヘバサウ云フ點ニ頓著ナク入學セシメル
ト云フコトニナリマシテ、成績考査ノ擧句、
僅カシカナイ席ヲ滿十九歲、二十歲ノ者バ
カリデ塞イデシマツタ、斯ウ云フ場合ガア
ツタトシマス、是等ハ入學早々直チニ軍
隊ノ方ニ行ツテシマフ、學校當局トシテハ
結局、如何ニ其ノ氣持ヲ移サウトシテモ、
學校ノ經營ノ上カラ見マス、是ハ空ツポ
ニナツテシマフ、サウシマス、ト茲ニ全然學
校ト云フモノガ成立タナイコトニナル、實
際今ハサウ云フ二十歲、十九歲ノ者バカリ
デ全部席ヲ塞グト云フコトハアリ得ナイデ
アリマセウケレドモ、併シ私學從來ノ傾向
カラ見マス、ヤハリ相當年ノ長ジタ者ガ
ヨリ多ク入ルト云フコトハ、今マデノ統計

ニ依ツテ明カデアリマス、事實其ノ方ガ受
驗勉強モ多クシマスシ、成績ハ優秀ナンデ
アリマス、ダカラ普通ノ場合ヨリモ私學ノ
方ガ平均年齡ガ高イノガ一般デアリマス、
今度ノ場合サウ云フモノハ普通ノ狀態ノ儘
ニシテ置イタナラバ、サウ云フ者ガヨリ多
ク入ル、入レバソレガ出テ行ク、出テ行ケバ
學校ガ空ツポニナル、是デハ私學トシテハ
成立タナイ、茲ニ必然——次官ガ今仰シヤ
ルヤウニ、出來ルダケサウ云フコトノナイ
ヤウニシタイト云フ御氣持ガアルノデシタ
ラ、具體的ニ適當ナル措置ヲ講ゼラレナ
ケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、
而シテ其ノ具體的ナ方法トシマシテ私考ヘ
マスノハ、直接經濟的ニサウ云フ缺陷ノ補填
ヲ行ハレルカ——詰リ十八年度ニ生ジタ缺
陷ノ補填ノ爲ニ二百五十萬圓御出シニナツ
タナラバ、同ジヤウナ意味ニ於テ、ヤハリ十
九年度以降ニ於テモサウシタ補填ヲナサル
カ、乃至ハ極度ニ制限セラレタ入學人員
ノ制限ヲ、多少今申上ゲタヤウナ理由ノ下
ニ緩和セラレテ、二割トカ三割トカ餘裕ヲ
認メラレルトカ、斯ウ云フ御措置ガナイ限
リハ相成ラヌト思フノデアリマス、既ニ差
迫ツテ居ル問題デアリマシテ、世間デモ子
ヲ持ツ親ハソレノ非常ナ苦慮ニ當面シテ
居ル譯デアリマスカラ、私ハ文部當局ノ措
置ガ出來ルダケ早カラシムコトヲ——即刻ヤ
ラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、今
申上ゲタ點デ具體的ナ對策ニ付テ御意見ヲ
承ルコトガ出來マセウカ
○菊池政府委員 私ノ心持ハ先程申上ゲタ
通りデアリマス、主トシテ今御話ノ點ハ經
營上ノ經濟的補填ノ問題ガ主ノヤウデアリ
マスルガ、是等ニ付キマシテハ尙篤ト研

究致シタイト思ヒマス

○中村委員長 時間モ遅クナリマシタガ田下君カラ厚生省ニ對スル質問ノ保留ガゴザイマシテ、極ク簡潔デアルト云フ御申出デアリマスカラ、此ノ際御濟マシテ願ヒタイト思ヒマス——田下君

○田下委員 委員長ノ御宣告ノ通り時間モ切迫シタヤウデアリマスカラ簡單ニ申上ゲマス、健康保險ニ付テ質問致シタイト思ヒマスガ、健康保險ニ關シマスル共濟組合或ハ互助會等ガ從來非常ニ澤山アツタ、例ヘバ學校教員トカ或ハ警察トカ、町村役場トカ、工場トカ斯ウ云ツタヤウナ色々ナ組合ガアツテ、是等ニ關係シテ居ル人達ノ保健上ニ非常ニ安定ヲ與ヘテ來タト云フコトハ、私共ハ非常ニ宜イコトダト思フノデアリマスガ、更ニ一昨年カラ各町村ヲ單位ト致シマシテ、國民健康保險組合ヲ設立スベク強要セラレテ居ツタノデアリマス、ソレデ各地方ニ於テハ其ノ設立ヲ相當澤山見ルヤウニ相成ツタノデアリマス、所ガ從來アリマシタ共濟組合ト、新タニ出來タ町村單位ノ國民健康保險組合トガ重複スルヤウナ形ニ相成ルノデアリマス、ソレデ初メハ其ノ共濟組合ニ加入シテ居ル者デモ、國民健康保險組合ニ加入セヨト云フノデ左様ニ致シタノデアリマスガ、途中カラソレハ重複スル必要ハナイカラ、サウ云ツタ者ハ加入シナイデモ宜イト云フコトニナリ、又更ニ加入シテモ宜イ、サウ云フ風ニ重複加入スル者ハ組合費ヲ半減セヨトカ云ツテ、色々ノ條件ガ出タノデアリマス、是ハ町村ヲ單位トスル國民健康保險組合ノ成立ニ非常ニ重大ナル影響ヲ及スノデアリマス、組合費ヲ半減シテ加入セシメルト云フコトニナリマス

ト、其ノ町村ノ健康保險組合ト云フモノガ、基礎ガ非常ニ——何ト申シマスカ危クナルト申シマスカ、薄弱ニナルト申シマスカ、經營ガ困難ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ町村カラ補助ヲ貰フカ、或ハ國カラ補助ヲ貰ハナケレバ經營ガシテ行ケナイト云フヤウナ町村ガ相當アルト思フノデアリマス、私新潟縣ニモ其ノ例ヲ知ツテ居ルノデアリマスガ、現在約戸數ノ半分位ハ重複シタ加入者ニ相成ルノデアリマスカラシテ、其ノ組合ハ經營ガ非常ニ困難ナノデアリマス、斯様ナ狀況ニナリマス、折角國家ガ要請シマスル健民運動ノ結果ト致シマシテ、各町村單位ノ國民健康保險組合ヲ設立スルニ致シマシテモ、其ノ經營ガ非常ニ困難デアルト云フコトニナルノデアリマス、ソレガ一ツノ理由デゴザイマシテ、其ノ理由ダケデモゴザイマセヌガ、今日各共濟組合、私ガ先程申シマシタヤウニ色々ノ方面ニ於テ組合ガアルノデアリマスガ、ソレ等ヲ一ツ統一致シマシテ、國民健康保險組合ノ一本ニスルカ、或ハ其ノ他ノ適當ノ方法ニ整理統合シテ、サウシテ折角國家ガ要請スル保險組合、各町村ニ強要シテ設立セシメタ其ノ保險組合ヲ益々發達セシメテ、大衆ニ所謂醫藥ノ恩惠ヲ受ケサセルヤウニセシメタイ、斯様ニ我々考ヘルノデアリマスガ、此ノ觀點カラ致シマシテ、既設ノ色々ノ健康保險組合ヲ整理統合スル御意思ガアリマスルカドウカ、サウシテ又左様ナコトガナイト致シマスナラバ、國民健康保險組合ガ成立ガ困難デアルト云フ場合ニハ、如何ナル方法デ其ノ成立ヲ助長シ、或ハ基礎ヲ強メテ行クコトガ出來ルカ、如何ナル政府ノ御方針デアルカ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス

○平井政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、厚生保險制度ハ御承知ノ通りニ發生的理由カラ非常ニ複雑ニ相成ツテ居リマスノデ、之ヲ整理統合致シマスルコトハ各方面ニ色々ノ不利益ガゴザイマスノデ、我我ト致シマシテハ、之ヲ整理統合スル方針ノ下ニ進ンデ居リマシテ、其ノ可能ナモノニ付キマシテハ、既ニ今年度ノ初メカラ職員健康保險制度ト健康保險制度ト統合ヲ圖ツテ參ツタノデアリマス、現在ノ制度ト致シマシテハ職域ヲ中心ト致シマスル健康保險ト、地域ヲ中心ニ致シマスル健康保險ト、大體此ノ二通りニ分レテ居リマシテ、其ノ職域ヲ中心トスル健康保險制度ノ類似の制度トシテハ、官業共濟組合或ハ政府職員共濟組合、其ノ他教職員共濟組合ト云フヤウナ共濟組合ガ凡ソ二十四バカリ全國ニアルノデアリマス、之ヲ我々大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ健康保險組合ニ統合シタイト云フ考ヘヲ以チマシテ著々準備ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマスケレドモ、ソレゾレノ共濟組合ハ各、從來ノ經過モアリマスノデ、色々内容ノ相違モゴザイマシテ、簡單ニハ統合ガ參ラナイノデアリマスガ、セメテ統合ガ出來ナイマデモ、其ノ手續或ハ樣式等ノ統一ヲ圖リマシテ、實質的ニハ統一シタ實體ヲ具ヘルヤウニ致シタイト思ヒマシテ、昨年末以來ソレノト協議ヲ進メテ參ツテ居リマス、併シ厚生保險ノ技術方面カラ見マス、將來ノ厚生保險制度トシテハ、ドウシテモ職域ヲ中心トスル一ツノ制度、ソレカラ地域ヲ中心トスル制度、即チ健康保險制度ト國民健康保險制度トノ二本建デ行カナケレバナラナイヤウニ考ヘル

ノデアリマス、ソレハ要スル所雇關係ニ立ツ人々ノ制度ト、然ラザル人々ノ制度デアリマシテ、左様ニ考ヘマスノハ、結局ノ所雇關係ニ立チマス人々ノ間ニハ特殊ノ業務上ノ傷病ト云フモノガゴザイマス、是ガ取扱、其ノ負擔關係等カラ、技術的ニ考ヘマス時ニハドウシテモ職域の制度、地域的ノ制度ト二本建デ行クベキモノデアナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ二本建デハ參リマスケレドモ、兩制度ノ内容ガ均衡ヲ得ル狀態ニ達シマスナラバ、疾病ニ關スル方面ニ付キマシテハ、自ラ兩者ノ間ニ調整ヲ取ル途ハアルト存ズルノデアリマスガ、制度トシテハ左様ニ進ンデ行クベキモノデアナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、但シハ雇關係ニ立ツ人々ニ對スル制度ト、然ラザル人々ニ對スル制度デアリマシテ、現在ノ制度デハ雇關係ニ立ツ人々ノ制度ノ中ニ、其ノ家族ノコトマデモ採入レテ居ルノデアリマス、此ノ家族ニ付テハ雇關係ニ立ツ人々ト同一ニ取扱フ絕對の必要モアリマセヌ、地域の制度ノ強化ヲ圖リ、又其ノ趣旨ヲ貫徹スル意味カラ、家族ニ付テハ地域の制度ノ方ニ振替ヘテ行クベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、但シ現狀ニ於キマシテハ國民健康保險制度ガマダ普及ノ途上ニゴザイマスノデ、之ヲ全面的ニ振替ヘル時期デハナイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、普及致シマセヌ土地ニ於キマシテ、從來アリマシタ家族ニ對スル保護ガ落チル譯デアリマスノデ相當國民健康保險制度ガ普及致シマセヌト、保護ノ十全ヲ期スル上カラ、之ヲ國民健康保險ノ方ニ讓ル譯ニ參ラスノデアリマス、更ニ又國民健康保險制度ハ自治的ノ制度デアリマシテ、其ノ

給付ノ内容、程度、期間等モ十九年ノ歴史ヲ持ツ健康保險制度トハマダ懸隔ガゴザイマスノデ其ノ組合ノ實質ノ向上ヲ指導致シマシテ、其ノ曉ニ於キマシテハ只今申シマシタヤウニ家族ハ一切ヲ舉ゲテ國民健康保險ニ受取ルベキモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り斯ウ云ツタ制度ハ單ニ病氣トカ怪我ニナリマシタ場合ノ手段デハアリマセズデ、更ニ進ンデ關係ノ組合員、或ハ被保險者ノ疾病ヲ豫防シ、或ハ健康ヲ増進致シマシテ勤勞力ノ増強ヲ圖ル、斯ウ云フ積極的理由、趣旨、目的ガ、社會保險制度ト申シマスカ、厚生保險制度ノ一ツノ大キナ狙ヒデアリマス、ソレヲ國民健康保險組合ニ實現シテ戴ク爲ニハ、ドウシテモ舉村一體ノ制度トナルベキモノダト考ヘテ居リマスガ、現狀ニ於キマシテハ過渡的ノ措置ト致シマシテ、絕對ニ重負擔ニハナラナイ方法ニ依ツテ、二重加入ニ依ツテ其ノ弊ヲ避ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、之ニ依ツテ組合ガ缺損ヲ見ルト云フコトハ考ヘトシテハアリ得ナイノデアリマスケレドモ、若シ缺損ヲ組合ガ出シマシ場合ニ於キマシテハ、我々ノ方デソレニ充ツベキ補助金モ持ツテ居リマシテ、出來ルダケ組合ガ適正ニ運營サレマシタ上ニ、赤字ガ出來マシタ場合ニ於キマシテハ、相當額持ツテ居リマス補助金ニ依リマシテ之ヲ補填シテ、將來ノ健全ナル發達ヲ期シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○田下委員 御趣旨能ク了解致シマシタ、地域ト職域トノ兩建ニ行カナケレバナラヌト云フコトモ御尤モト思ヒマス、併シ國民健康保險組合ハ只今設立ノ途上ニアル爲ニ、全國ニ普及ノ程度ガ少イ、ソレガ相當ニ普

及若シクハ殆ド普及シタ後ニ於テ、初メテ只今御話ニナツタヤウナコトヲ考慮スベキデアルト云フコトデゴザイマシタガ、サウ云フコトニナリマス、此ノ國民健康保險ガ全國ニ普及スルマデニハ容易ナコトデヤナイト思ハレルノデアリマス、サウスルト一昨年以來率先シテ國家ノ要請ニ即應シテ設立シタ各町村ガ、其ノ恩惠ニ浴スルマデニハ相當ノ日時ガアル譯デアリマスカラ、其ノ間、今御話ニナリマシタヤウニ、實際經營ガ困難デアルトカ何トカ云フ所ハ、相當國家トシテ助成シテ下サルコトガ當然ダト思ヒマス、併シ御意思ハ能ク分リマシタカラ、何レ具體的ノコトハ後デ又申上ガタイト思ヒマスガ、私ノ質問ハ是デ終ツテ置キマス

○平井政府委員 國民健康保險組合ノ普及ハ、只今ノ御話デハ非常ニ長ク掛ルヤウナ御言葉デアリマシタガ、實ハ此ノ十八年度ヲ以テ全國ノ町村ニ普及シタイ、現狀ニ於キマシテハ全國デ二三ノ町村ニ設立ガ出來テ居ナイ程度デアリマシテ、年度内ニハ恐ラク殆ド全町村ニ普及ヲ見ルコトト考ヘテ居リマス、又來年度ニ於テハ支部ニ普及スベク豫算的措置ヲ講ジテ居リマスノデ、長イ時期デハナイト思ヒマスカラ、一寸一言申上ゲテ置キマス

○中村委員長 遅クナツテ御迷惑デアリマスガ、散會後委員會ノ運營ニ付テ委員懇談會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、委員各位ハ御含ミヲ願ヒマス、本日ハ此ノ程度ヲ以テ散會致シマス

午後五時四十三分散會

昭和十九年一月二十七日印刷

昭和十九年一月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局